

由布市民憲章

— みんなの誓い —

私たち由布市民は
みんなの幸せのために、
四つの誓いを果たすことに
努めましょう。

〔感謝と使命〕

- 一・ 豊かな自然を命の源として感謝し
次代の市民に引き継いでいくまちをつくります

〔融和と郷土愛〕

- 一・ 郷土の歴史・文化・慣習を大切にし
緑豊かでふれあいのあるまちをつくります

〔平等と仁愛〕

- 一・ 一人ひとりの人権を尊重し子どもやお年寄りを
大切にするあたたかいまちをつくります

〔協働と希望〕

- 一・ 地域づくり・まちづくりにみんなで参加し
健康で笑顔あふれる明るいまちをつくります



発刊のごあいさつ



由布市長
首藤 奉文

由布市は、平成17年10月1日に挾間町・庄内町・湯布院町の3町の合併により誕生しました。その後、平成19年3月に第一次の由布市総合計画を策定し、「融和」「協働」「発展」を基本理念に掲げ、目指すべき将来像の実現に向け、市民の皆様とともにまちづくりに取り組んできました。

この間、本市を取り巻く状況は、少子・高齢化による人口減少、社会保障費の増大、地方分権の進展、社会資本の老朽化、多様化する市民ニーズ、東日本大震災などによる安全・安心に対する意識の高まりなど、大きく様変わりしています。

このような社会情勢の変化を踏まえつつ、第二次由布市総合計画の策定にあたりましては、「連携」と「協働」により、「創造」（新しい価値）と「循環」（持続性）を生み出しながら、第一次計画と同様の「地域自治を大切にしたい、住み良き日本一のまち」に向けたまちづくりを進めていくこととし、今後10年間の指標を定めた「基本構想」及び向こう5年間で重点的に取り組むべき施策としての「重点戦略プラン」を策定いたしました。

本計画では、本市のもつ資源や強みを効果的に活かしていくまちづくりを推進するものとしており、6つのテーマに分けた施策を体系化し、それぞれの施策ごとに目標を定めています。また、向こう5年間で取り組む、重点戦略プランにおいては、数値目標を設定するなど、わかりやすく実効性のある計画づくりに努めたところであります。

これからは、「第二次由布市総合計画」と地方創生に係る「由布市総合戦略」との有機的な連動により、住んでよし、訪れてよしのまちづくりに向けた新たな一歩を、市民の皆様とともに踏み出したいと考えております。皆様の一層のご理解とご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、総合計画審議会委員の皆様をはじめ、市民意識調査、みらい懇談会、ワーキンググループ会議、パブリックコメント等を通じて貴重なご意見やご提言を頂きました皆様にご心より厚くお礼を申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

平成28年3月

より戦略的なまちづくりに向けた第二次由布市総合計画

「第二次由布市総合計画」とは、地方自治体が持つ、最も基本的で、最上位に位置づけられる計画です。**今後10年間にける由布市のまちづくり、行政運営の目標や基本理念、施策の体系等を定める**ものです。

由布市は、平成17年10月1日に挾間町、庄内町、湯布院町の合併により誕生しました。それから10年が経過したことを受けて、これまで由布市のまちづくりの羅針盤であった「第一次由布市総合計画」を引き継ぎ、これからの10年のまちづくりに向けて「第二次由布市総合計画」を策定しました。

第二次由布市総合計画の策定に際しては、我が国全体が迎えている**人口減少、少子高齢化、グローバルゼーション**といった社会動向を踏まえて、これまでよりもより一層市民の皆様の満足度を高め、来訪者の皆様に評価していただける由布市を目指して、**戦略的で意志のある計画策定**を目標としました。

そのため、総合計画の構成についても、由布市が今後10年間にわたって進めるまちづくりの目標や基本理念、施策の体系を示した「**基本構想**」(本書)と、その中で由布市が今後5年間に特に重点的に取り組む重点プロジェクトについてその目標や推進体制、取り組みステップ等を示した「**重点戦略プラン**」(別冊)、今後3年間の由布市の事務・事業計画を示した「**実施計画**」(別冊)の三部構成とし、由布市のまちづくりの方向性をより明確に示すようにしました。

また、策定にあたっては、市民アンケートの実施や各地区で市政懇談会を開催するとともに、市民の皆様と市職員による検討ワーキングや市民代表者による審議会を設置し、市民の皆様とともに計画内容について検討を進めてきました。この「第二次由布市総合計画(基本構想)」は、「第二次由布市総合計画(重点戦略プラン)」と一体となって、今後の**由布市のまちづくりの指針**を示すものです。今後、これらの計画に基づき、市民、企業の皆様のみならず地域外の協力者の皆様とともに由布市のまちづくりに取り組んでいきます。

第二次由布市総合計画

基本構想 (10年間)

- まちづくりの基本理念
- まちづくりの目標
- 施策体系

重点戦略プラン[※] (5年間)

- 5年間に特に重点的に取り組むべき施策

実施計画[※]

- 事務・事業計画

※「重点戦略プラン」と「実施計画」については、別冊になるため、本書には掲載されておりません。



用語解説

【グローバルゼーション】

人、モノ、カネ、情報などが国の枠組みを超えて活発に移動し、政治・経済・文化の活動が世界規模で拡大することをいう。

まちづくりに活かしたい資源・強み

基本構想で定める「まちづくりの目標」「施策の体系」や重点戦略プランで定める「重点プロジェクト」は、以下のような由布市の資源・強みを効果的に活かしたまちづくりを推進するものとします。

1

豊富な自然環境、 水資源、温泉

由布市は、北部に由布岳、城ヶ岳、南部に黒岳、花牟礼岳、時山等が連なり、庄内、湯布院の一部は、阿蘇くじゅう国立公園の一部となっています。

また、大分川流域の豊かな水資源、豊富な湧水があり、

これらの自然環境と共生する形で、

各地域で農林畜産業が営まれてきました。

また、豊富に湧き出る温泉を活かして、

湯平温泉や由布院温泉が

全国屈指の湯治場、温泉地として栄えています。

農林畜産業と 伝統文化の継承

豊かな水資源や標高差等、地域ごとの気候特性を活かして、
水稲、野菜、畜産、果樹、花きなどの園芸作物といった
特色のある多種多様な農林畜産業が営まれてきました。

また、自然と密接に関わってきた暮らしの中から、
庄内神楽等の伝統芸能が根付き、次世代へ受け継がれています。

また、春の風物詩である野焼きの取り組みが、
開放感のある景観を保持しています。



道路・鉄道等による 交通利便性

大分市等の周辺自治体と由布市を結ぶ国道 210 号が由布市の中心を走ります。それに並行する JR 久大本線は、福岡市や大分市等から特急が運行し、市内には 8 つの駅があり、ビジネス・観光のための主要な交通機関となっています。大分自動車道には、湯布院 IC*が設置され、高速バスで福岡市や大分市、福岡空港、大分空港と結ばれています。一方で挾間は大分 IC が近く、大分空港や県南方面へのアクセスに恵まれています。また平成 28 年度には由布岳スマート IC が開設される予定です。

※IC=インターチェンジの略



医療・福祉施設 充実した

大分は日本で初めて西洋医学を取り入れた地域でもあり、医療と深い縁のある地域です。

本市は、古くから湯治場として栄えた湯平、休養・保養の場所として息づいてきた由布院があります。旧日野病院など、全国的にも貴重な歴史的建造物が残り、医療に関する歴史がある地域です。現在では、大分県の医療の中核を担う大分大学医学部附属病院の立地も含め、市民一人あたりの医療機関数が多く、福祉、地域医療が充実しています。

そのため、医療・福祉関係の就業人口や生産額は、本市の上位を占めており、主要な産業の一つとなっています。

我が国屈指の 観光地

大正～昭和初期頃には湯平温泉が全国屈指の湯治場として、昭和 50 年頃からは由布院温泉が観光地として栄え、景観・環境を守りながら、温泉資源を観光に活かしたまちづくりが続けられています。湯布院観光は、地域の魅力を地域外へ発信し、地域ブランド力を高めるとともに、多くの旅館や飲食・小売業者と観光客を地域にもたらし、由布市が外貨を獲得し、雇用を創出する産業としての役割を担っています。



質の高い住環境

挾間、庄内における住宅地は、豊かな自然環境に恵まれ、大型商業施設等の商業施設、大分大学医学部附属病院等の医療機関も充実しています。さらには大分市や別府市等の都市部への道路、鉄道等によるアクセスも良く、大分都市圏においても落ち着いた住環境と利便性の高い生活環境、選択可能な雇用環境が整った地域です。





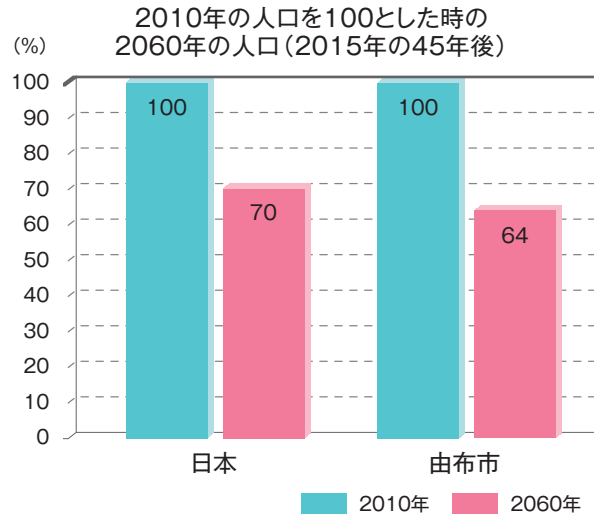
まちづくりの課題 — 人口減少と少子高齢化の進展 —

(人口予測は、国立社会保障・人口問題研究所(以下「社人研」という。)が公表した「日本の将来推計人口(2012年1月中位推計)」によります。)

1 全国平均を上回る人口減少予測

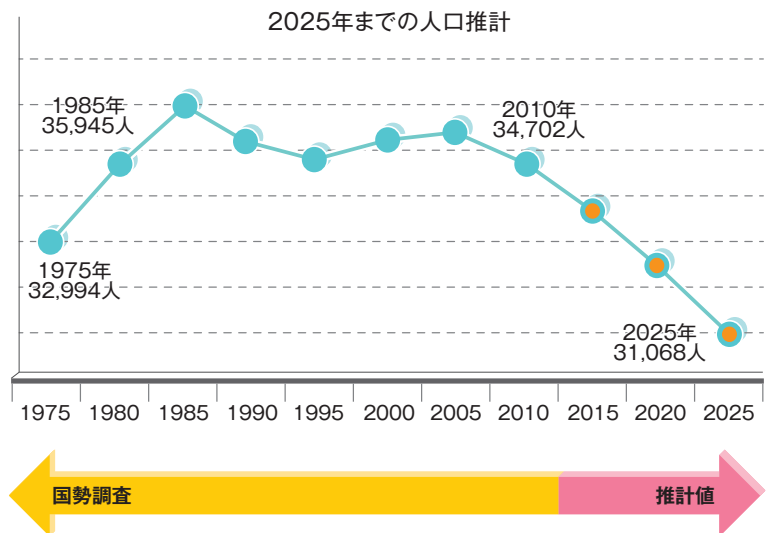
本市には、まちづくりに活かしたい資源や強みが豊富にある一方で、今後の人口動向に関しては減少傾向で推移していくことが予測されています。

長期的な人口推移では、2060年に日本の総人口は現在の約70%、本市は現在の約64%(21,475人)になると予測されており、本市は全国平均を上回る減少が見込まれています。



2 人口減少が本格化するこれからの10年

本計画の終了年である10年後、平成37年(2025年)の人口は、31,068人と予測されています。2005年から2015年までの10年間での減少率が4.9%である一方で、2015年から2025年までの減少率は10.5%となっており、今後本市においても人口減少が本格化することが見込まれています。持続的なまちづくりを行うにあたって、人口減少社会に対応した適切な土地利用も重要です。由布市都市計画マスタープランの土地利用方針に基づき、施策を実施していきます。



3 人口減少の主な要因

我が国の地方自治体における人口減少の主な要因は、「地域外への人口流出(転出が多く、転入が少ない)」「出生率の低下」「既婚率の低下」等が挙げられます。こうした要因への効果的な取り組みを進めるために、市内各地域の実情にあわせた、きめ細かいまちづくりを進めていくことが重要です。



用語解説 【都市計画マスタープラン】

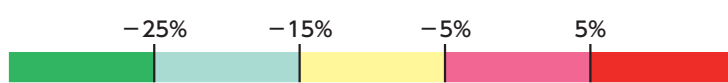
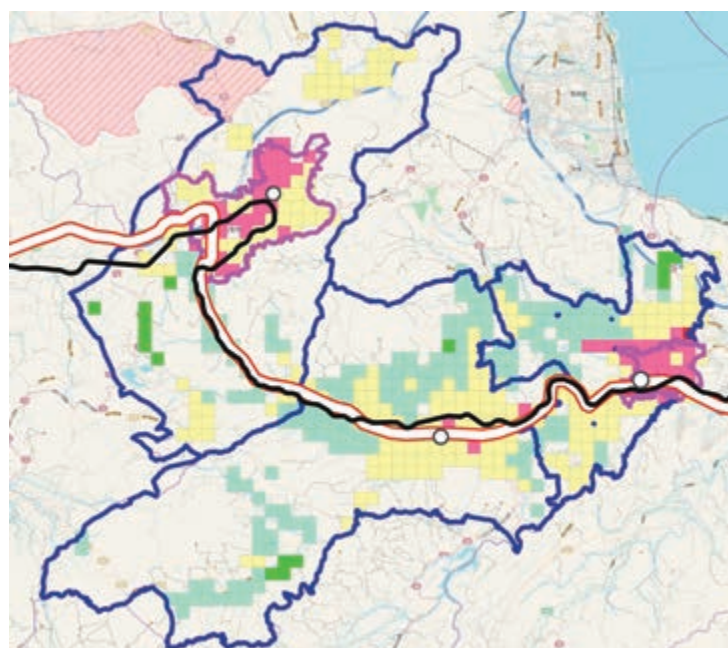
都市計画法に基づく、市町村の都市計画に関する基本的な方針のこと。

4 今後 10 年間の自治区別人口減少率

湯布院地域の中心部、挟間地域の中心部では人口減少が少なく、10年後も人口が維持される地域となっています。このエリアは、都市計画区域とほぼ一致しています。

また、幹線道路である国道210号の沿線では全体的に微減傾向です。

市全域における幹線道路から離れた山間部、および庄内～湯布院の境界付近の幹線道路沿いの地域では、大きく減少する傾向がみられます。



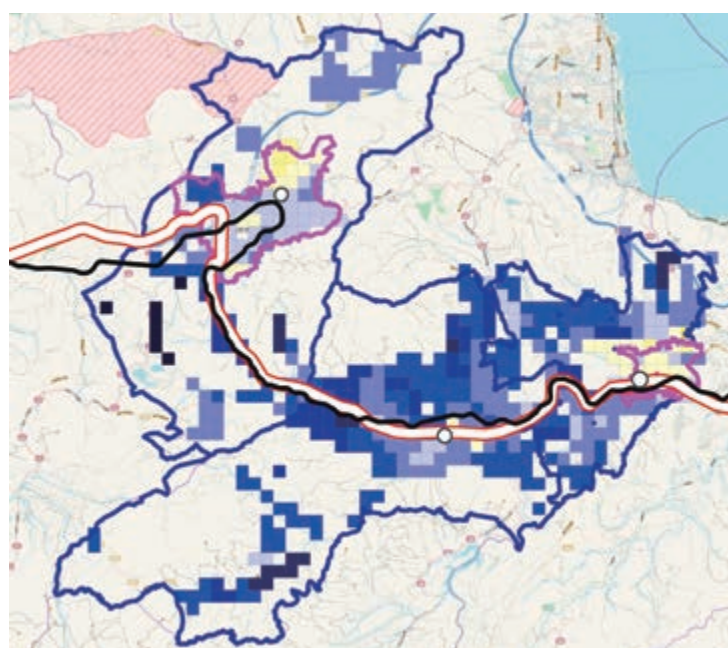
※平成26年（2015年）時点の由布市の人口を基準とする

5 10年後の自治区別高齢化率

湯布院地域の中心部、挟間地域の中心部の10年後の高齢化率は、市全体平均値より低くなっています。

その周辺の地域と、国道210号沿いの庄内庁舎付近より挟間方面の沿線の地区では、高齢化率がほぼ平均値前後となっています。

幹線道路から離れた山間部や庄内～湯布院の境界付近に高齢化率が平均値より高い地域が集中しており、人口減少が激しいと予想される地域において高齢化率が高くなっています。



※平成26年（2015年）時点の由布市の高齢化率を基準とする



まちづくりの目標

由布市の持つ資源や強みを活かしながら、人口減少と少子高齢化といった課題に対応していくために、第一次由布市総合計画で進めてきたまちづくりを継承し、まちづくりの目標を以下のように設定します。

地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市

本総合計画に掲げる施策の取り組み等により、

「平成37年(2025年)の将来計画人口**32,000人**」

を目指します。



まちづくりの基本理念

第一次由布市総合計画の基本理念（「融和」「協働」「発展」）を発展的に継承し、「まちづくりの目標」の実現に向けた取り組み姿勢である基本理念を以下のように設定します。

「連携」と「協働」 「創造」と「循環」

合併直後に課題であった人と人、地域と地域の「融和」は、これまでの10年間で第一に取り組んできました。それによって築かれてきた「融和」を礎とし、今後はその次のステップとして、「連携」と「協働」、「創造」と「循環」をまちづくりの基本理念とします。

由布市内のみならず、由布市外との広域連携も含めて、様々な場面で**効果的な連携体制を構築**しながらまちづくりを進めていくことが重要です。また、行政だけでなく、市民、企業、団体など様々な主体の強みや得意分野を活かした**協働によるまちづくり**を推進することが求められています。

地域の良さや強みを認識・共有し、その多様性を活かしながら、住民が主体性を持った中で積極的な参画がなされている状況を、「地域自治を大切にした」由布市のまちづくりの姿と考えます。

さらに、そうした連携と協働によるまちづくりを進める中で、由布市の強みを活かしながら、由布市が抱える様々な社会的課題を解決していくためには、市民一人ひとりが、由布市に**「新しい価値」をもたらすような「創造的な取り組み」**を進める姿勢が求められ、市民一人ひとりによる「創造的な取り組み」が相互に連携、協働することにより由布市のまちづくりが連鎖的かつ発展的に進み、由布市の地域社会、地域経済、地域環境の持続性が高まっていくような**「まちづくりの好循環」**を実現していくことが重要です。

「連携」と「協働」により、「創造」（＝新しい価値）と「循環」（＝持続性）を生み出しながら、「地域自治を大切にした 住み良さ日本一のまち・由布市」に向けたまちづくりをすすめていきます。

まちづくりの目標実現に向けた6つのテーマ

基本構想では、「まちづくりの目標」の実現に向けた取り組みを、6つの施策テーマに大別して設定しました。6つのテーマは、以下のとおりです。次ページ以降にこれらテーマごとの施策目標と施策内容を記載します。

- 地域自治や防災、コミュニティ、行財政に取り組む「みんなで進める!持続可能なまちづくり」
- 福祉や医療、健康に取り組む「一人ひとりの力を活かせるまちづくり」
- 教育や文化、子育て、人権に取り組む「人や文化を育むまちづくり」
- 産業振興や雇用創出に取り組む「経済の循環から地域が潤うまちづくり」
- 自然環境や生活環境に取り組む「豊かな環境の中で快適な暮らしが実感できるまちづくり」
- 観光・交流推進や地域プロモーション、移住定住に取り組む「地域を知り、表現するまちづくり」



施策体系図（全テーマ）

| まちづくりのテーマ | 施策目標 | 施策分野 | 施策の柱等 |
|---|-------------------------|---|---|
| <p>みんなが進める！ 持続可能なまちづくり</p> <p>p16</p> | 市民とともにつくる「まちの未来」* | 住民参画 | <ul style="list-style-type: none"> 市民参画 協働 コミュニティ |
| | 持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成* | 行財政 | <ul style="list-style-type: none"> 行財政 広域連携 産学官連携 |
| | 安心して暮らせる地域社会の創造 | 消防・防災 | <ul style="list-style-type: none"> 消防・防災 防犯 交通安全 公共交通 消費生活 |
| <p>一人ひとりの力を活かせるまちづくり</p> <p>p20</p> | 誰もが輝ける福祉社会の実現 | 社会福祉 | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者福祉 障がい者福祉 生活困窮者福祉 地域福祉 |
| | いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現 | 健康・医療 | 健康施策 |
| | 安心して受けられる医療・保険の実現 | 健康・医療 | 地域医療 |
| <p>人や文化を育むまちづくり</p> <p>p24</p> | 生きがいに満ちた生涯学習社会の形成 | 教育・文化 | <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習 スポーツ振興 |
| | 生きる力を育む学校教育の推進 | | 学校教育 |
| | 誇りを持てる地域文化の創造 | <ul style="list-style-type: none"> 地域文化・芸術 国際文化 | |
| | 人権を尊重する社会の形成 | 人権 | <ul style="list-style-type: none"> 人権教育・啓発 男女共同参画 |
| | 安心して笑顔で子育てできる地域社会の創造 | 子育て | 子育て支援 |

| まちづくりのテーマ | 施策目標 | 施策分野 | 施策の柱等 |
|---|----------------------------|-------|---|
| <p>経済の循環から 地域が潤う まちづくり</p> <p>p28</p> | 地域に根差した持続可能な農林畜産業 | 農林畜産業 | <ul style="list-style-type: none"> 担い手と集落営農の確立 農村資源の活用 農商工観連携 |
| | 地域のにぎわいを生み出す商工・観光業 | 商工観光業 | <ul style="list-style-type: none"> 地場産業の育成・支援 コミュニティビジネス[※]の推進 |
| | 由布市で住み働くことの魅力向上 | 労働 | 職住近接の魅力向上 |
| <p>豊かな環境の中で 快適な暮らしが 実感できるまちづくり</p> <p>p32</p> | 豊かな自然環境の実現 | 自然環境 | <ul style="list-style-type: none"> 豊かな水資源の確保 環境負荷の少ない生活の促進 環境の保全と再生 |
| | 質の高い生活環境の実現 | 生活基盤 | <ul style="list-style-type: none"> 住宅 公園 道路 景観 廃棄物・エコ 高度情報化 |
| <p>地域を知り、 表現する まちづくり</p> <p>p36</p> | 多様な交流と情報発信の促進 [※] | 交流 | <ul style="list-style-type: none"> 地域体験型交流の充実 地域プロモーション[※]の推進 |

(注) ※は、単体の施策として掲載しているが、全ての施策との連動性があり、施策をより効果的に実現させる側面的施策としての位置づけを有している。

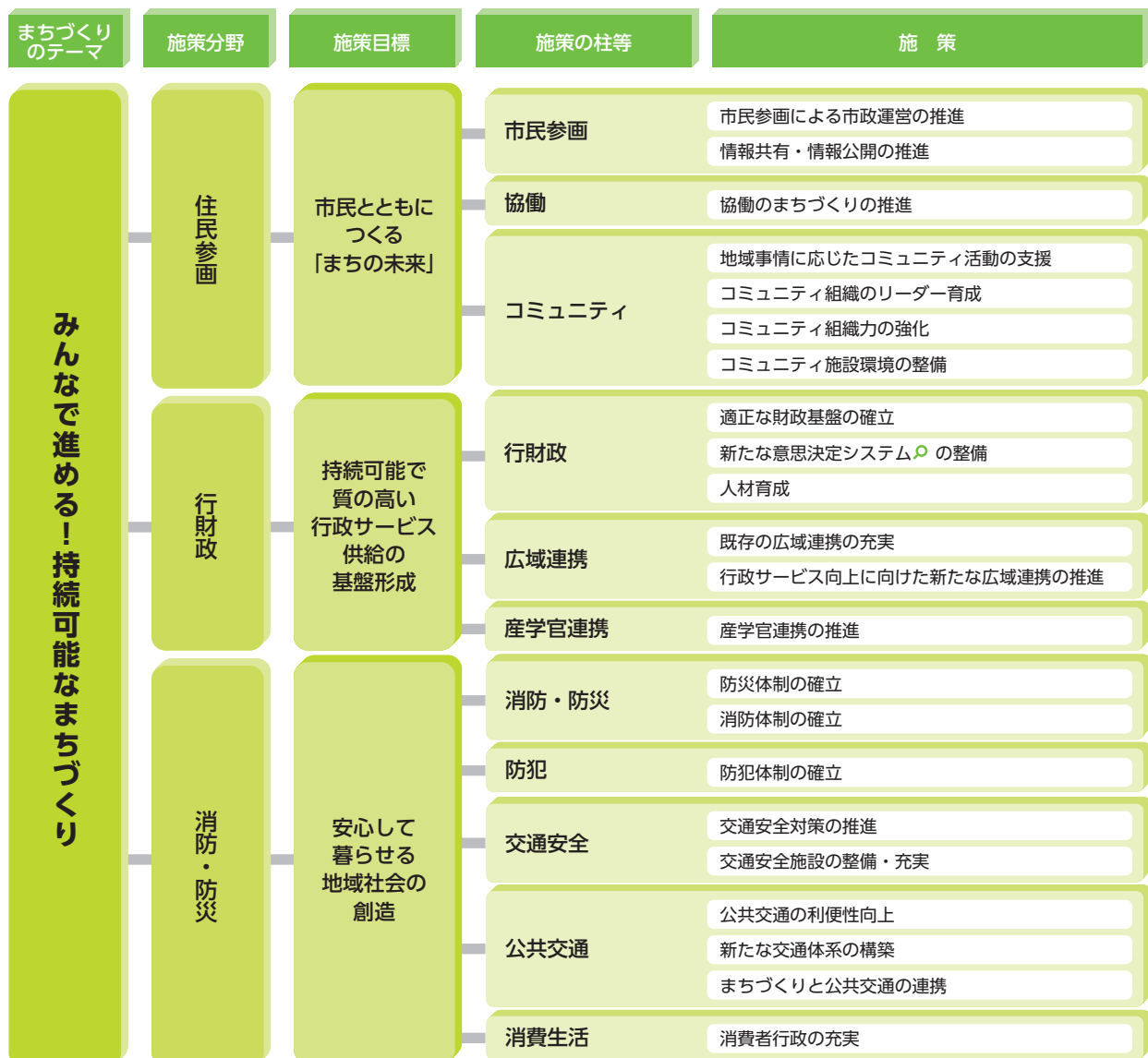
みんなで進める！ 持続可能なまちづくり

市民ニーズの多様化・増大化への行政対応の限界状況に対応するとともに、「まちづくりの主人公は市民」との理念の下、市民とともに「まちの未来」をつくっていくために、市政への市民参画、協働によるまちづくり、コミュニティ組織の支援・強化等を推進していきます。

適正な財政基盤を確立すると同時に、市民ニーズに対応し、まちづくりを推進していくため、必要な行政組織の整備・確立、人材育成、他自治体との広域連携を積極的に推進していきます。

「安心して暮らせる地域社会」を創造していくため、「自助」「共助」「公助」それぞれを大事にしながら、消防・防災、防犯、交通安全、公共交通、消費生活の各課題に取り組んでいきます。

施策体系図



施策目標 1

市民とともにつくる「まちの未来」

人口減少、高齢化の進展など対応すべき課題が山積しています。しかし、課題解決の役割を期待されている自治体もまた、厳しい財政事情の中で、増大する行政需要に対応するだけの余力を失い、多様な市民ニーズへのきめ細かな対応もできなくなりつつあります。こうした状況を打破するとともに、「まちづくりの主人公は市民」との理念の下、市民とともに「まちの未来」をつくっていくために、市政への市民参画、協働によるまちづくり、コミュニティ組織の支援・強化等を推進していきます。

施策目標 2

持続可能で質の高い行政サービス供給の基盤形成

今後も厳しい財政運営が予想される中で、いかに、質の高い行政サービス（＝多様な市民ニーズや多様な地域事情に対応した行政サービス）を持続的に供給できるかが大きな課題となっています。

合併以降、財政基盤の確立を第一義とした財政運営を行ってきました。もちろん、適正な財政基盤を確立していくことの重要性は今後も変わりませんが、今後 10 年間では、それにとどまらず、より積極的に、多様な市民ニーズや地域事情に対応した行政サービス供給やまちづくりを推進していきたいと考えています。そのため、現場主義を重視し、戦略的予算編成の仕組みや情報技術の活用などによって意思決定システム[○]の整備を行うとともに、「人材こそが成否のカギを握る」との発想に基づき人材育成にも積極的に取り組んでいきます。また、他自治体や産学官との連携が行政サービスの向上・効率化にとって有用であることから、広域連携も積極的に推進していきます。

施策目標 3

安心して暮らせる地域社会の創造

近年、記録的な集中豪雨や東日本大震災をはじめとした災害、凶悪な犯罪、高齢者を狙った詐欺事件などが頻発し、人々の暮らしの安心が脅かされています。また、他方で、バスの撤退など、地域公共交通の衰退も顕著であり、地域で住み続けることが難しい状況も生じています。こうした中、由布市では、「消防・防災」、「防犯」、「交通安全」、「公共交通」、「消費生活」の各課題に積極的に取り組んできました。「安心して暮らせる地域社会」の創造のため、今後も行政に求められる役割は決して少なくありません。しかし、そうした「公助」だけでは上記の諸課題の解決にとって十分でないことも事実です。防災を例にとれば、「自分の身は自分で守る」という「自助」や「自分たち（地域）の安全は自分たち（地域）で守る」という「共助」が、「公助」以上に必要なのです。（ただし、「自助」「共助」できるような環境整備を「公助」で行っていくことも大事です。）そこで、これからの 10 年間は、「自助」「共助」「公助」それぞれを大事しながら、上記の課題に取り組んでいきます。

下位の個別計画等

由布市地域公共交通総合連携計画、由布市行財政改革実施計画、由布市地域防災計画、由布市国民保護計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画



用語解説

【意思決定システム】

行政内部の意思決定に至るまでの行程や手順のこと。

まちづくりの
主人公は市民！





火の
目
ゆ

まちづくりのテーマ

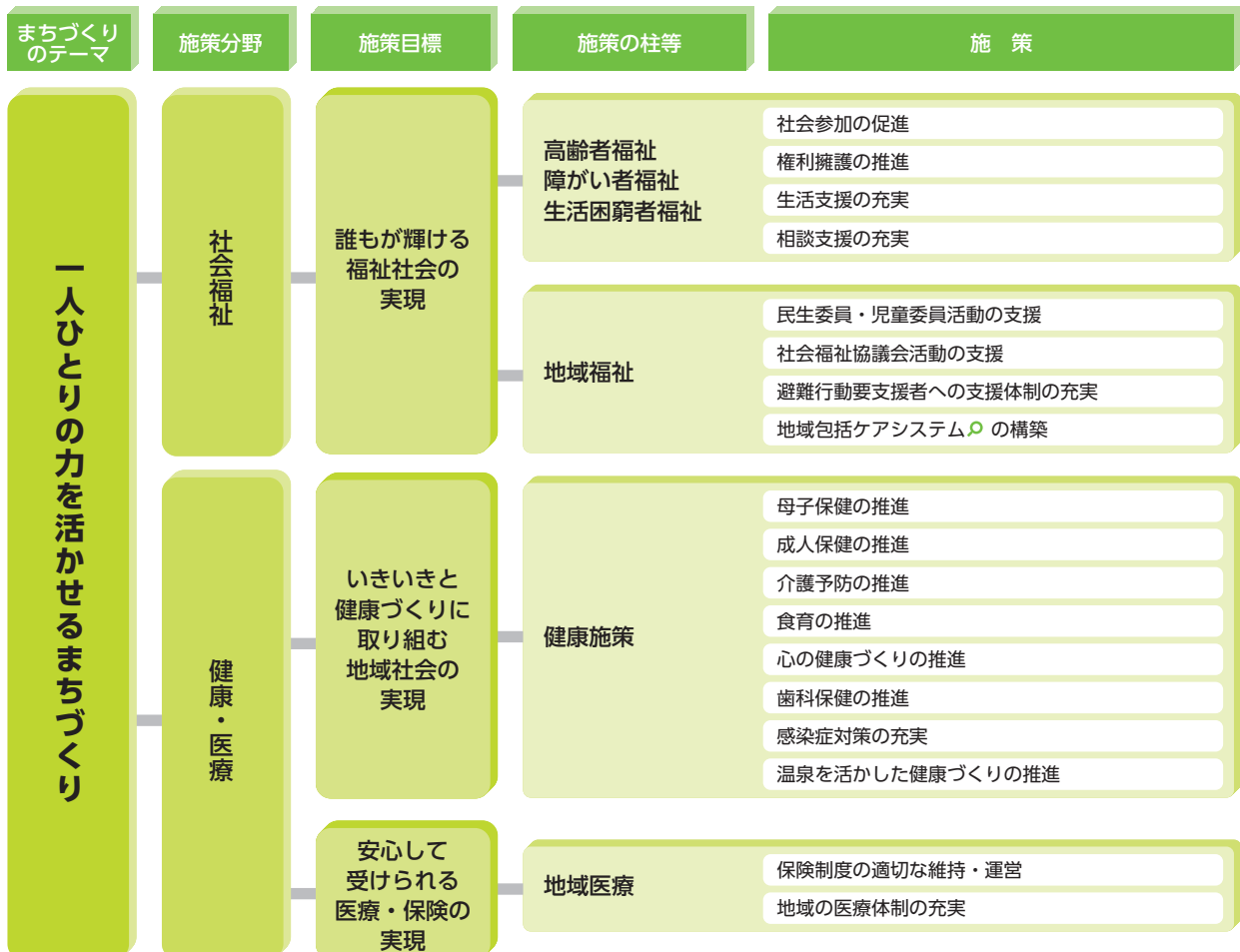
一人ひとりの力を活かせるまちづくり

健康長寿でありたいという誰もがもつ願いは、日常生活の中で一人ひとりがその役割を主体的に果たすことによって実現されるべきものです。一人ひとりが互いを尊重し、信頼関係を高め合い、全ての人が自らの能力を発揮できるまちづくりは、その礎となります。

由布市では**健康立市宣言**を行い、一人ひとりが個人・職域・地域において社会の健康を守り育む主体として貢献できる仕組みをつくり、「いつのまにか健康になっているコミュニティ」の実現に取り組みます。

また、高齢化のさらなる進展と人口減少という大きな人口構造の変化に伴い、生活のためのニーズは年々増加、多様化しています。そのため、保険・医療・福祉等の公的制度のサービスに加え、暮らし（介護・予防・生活等）の支援などの自助・共助を含めた幅広いサービスの提供が求められています。必要な人に必要なサービスがその人に合った形で、提供される地域包括ケアシステム[○]を構築し、年齢、疾病、障がい等に関わらず、あらゆる人が住み慣れた地域で「自分らしい暮らしを人生の最後まで続けていくことができるまち」をつくっていきます。

施策体系図



施策目標 1

誰もが輝ける福祉社会の実現

誰もが住み慣れた地域で、健康で自立した生活を営むためには、地域社会との関わりをつくっていくことが大切です。

地域の中で信頼関係や交流を深めることで、年齢や障がい等の有無にかかわらず、一人ひとりが**尊厳を保ち、個々の能力を発揮できる福祉体制**を築きます。また、生活困窮者など支援が必要な人には、適切な支援の手が届くよう、地域福祉の推進を行い、誰もが輝ける福祉社会を実現します。

施策目標 2

いきいきと健康づくりに取り組む地域社会の実現

生涯を通じ健康な生活を送れることは、多くの人々の願いです。そのためには、市民一人ひとりが、**健康づくりの主役は自分自身**であるということを実感し、自らが主体的に行動できるような仕組みを地域ぐるみでつくっていくことが大切です。具体的には、幼少期から高齢期までの一貫した健康意識の高揚を目指し、様々な分野と行政が連携しながら健康づくりに取り組みやすい環境づくりを推進します。また、市の財産である温泉を活用して、心も体もリフレッシュできる健康づくりに取り組んでいきます。

世代や生活スタイルなど、個人を取り巻く環境は様々であるため、多様な健康づくりが、家庭・地区・学校・職場など生活に身近な場所で展開される地域を目指します。また、地区における、より身近で気兼ねない健康づくりの取り組みに対し、住民組織などの力を活用し積極的に支援を行っていきます。

施策目標 3

安心して受けられる医療・保険の実現

適切な医療や介護サービスを安心して受けることは、私たちが持っている権利です。一人ひとりが自分にあつた医療を受けられ、望む場所で安心して暮らし続けていけるよう、休日受診、救急医療及び在宅医療連携等の地域医療体制の充実を図ります。

一方で、医療・介護保険制度は、加入者の保険料で運営され、**社会全体が連帯して支えることで適切な維持・運営が可能**になります。そのために、市民自らが心身の健康保持・増進に積極的に取り組み、疾病の予防や早期発見・早期治療に努め、重篤化の軽減を図ることができるよう、健康や保険制度に関する相談や知識の普及を推進します。また、医療・介護機関と連携し、より良質なサービス提供を行っていきます。

下位の個別計画等

「由布いきいきプラン」健康増進計画、健やか親子 21、食育推進基本計画、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画、由布市国民健康保険特定健診等実施計画、由布市国民健康保険保健事業実施計画、由布市地域福祉計画、地域福祉活動計画、由布市障がい福祉計画、由布市障がい者基本計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画



用語解説

【地域包括ケアシステム】

団塊の世代が75歳以上となる平成37年(2025年)を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組みのこと(厚生労働省より)





自分らしい暮らしを
人生の最後まで続けていける
ことができるまち

人や文化を育むまちづくり

社会が大きく変化し人口が減少していく中、お互いを尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる幸福度の高い地域社会を創るためには、一人ひとりが生涯を通じて**学びを深める環境づくり**が重要です。また、**安心して子どもを産み育てることができる地域づくり**は、子どもの健やかな成長を促し、新しい時代に対応できる柔軟性や、心の豊かさ、社会性を身につけるために必要不可欠な要素です。市民一人ひとりが地域の課題を解決していく担い手であるという自覚を持ち、家庭、学校、地域、企業が連携し、日本一住みよいまちづくりをしていくための基盤整備をしていきます。

施策体系図



施策目標 1

生きがいに満ちた生涯学習社会の形成

一人ひとりが生き生きと生活できる地域をつくるために、地域住民が地域の課題解決に必要な知識や技術を身につけ、社会参画や社会貢献ができるよう生涯にわたり学びを深めることができる学習基盤の整備と仕組みづくりを行います。

また、スポーツには、心身の健康・生きがい・仲間づくりなど多くの魅力があります。市民が健康で充実した生活を送ることができるよう、年齢や障がいの有無に関係なく楽しむことができるスポーツ振興に取り組みます。

施策目標 2

生きる力を育む学校教育の推進

子どもたちが将来の夢や希望を実現するために、また、たくましく自律的に生きる社会人を育てるために生きる力を育む学校教育を推進します。特に、未就学期から**発達段階に合わせた教育環境を整備し、幼小中高の連携を充実**させ、地域に貢献できる人材の育成を目指します。また地域の連携や専門家の活用等を取り入れることにより、子どもたちが夢を持ち、育むことのできる教育環境づくりに取り組みます。

施策目標 3

誇りを持てる地域文化の創造

ふるさとの歴史や文化を大切にし、自文化への理解を深め、感性豊かな生活ができるよう芸術・文化活動を推進します。また自文化への理解を土台として、多文化共生社会[○]を担う人材の育成により、様々な分野で国際化に対応できる市民力の向上を目指します。

施策目標 4

人権を尊重する社会の形成

互いに人権を尊重し合い、共に生きる喜びを実感できる地域社会を実現するため、一人ひとりが、人権に関する様々な問題に気づき、お互いの人権を尊重できる教育や啓発を推進します。また、男女が互いに対等な立場で、仕事や生き方を選択できる社会の実現を目指します。

施策目標 5

安心して笑顔で子育てできる地域社会の創造

少子化や人口減少が進み、家庭環境も多様化している中で、次世代の子どもたちを安心して生み育てられる環境の整備や、そのためのきめ細かな支援を行います。子どもが心身ともに健やかに成長するためには、**家庭・地域・学校・企業、そして行政がそれぞれの役割を果たし連携することが必要**です。

妊娠・出産から乳幼児期の福祉・保健・医療の問題、共働き家庭の保育の問題、核家族化による育児不安、児童健全育成に必要な居場所づくりなど社会・家庭環境の多様化に対応した切れ目のない、一貫したサービスの提供を社会全体で支援し、すべての子どもが笑顔に包まれ健やかに育つまちづくりを推進します。

下位の個別計画等

由布市男女共同参画プラン、由布市教育振興基本計画、由布市人権教育・啓発基本計画、由布市子ども・子育て支援事業計画、由布市次世代育成支援後期行動計画、由布市立小学校規模適正化推進計画、由布市教育方針、由布市社会教育振興計画、子ども読書活動推進計画、由布市スポーツ推進計画、由布市社会体育施設整備計画、由布市歴史文化基本構想、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画



用語解説

【多文化共生社会】

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的な違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと（総務省より）」



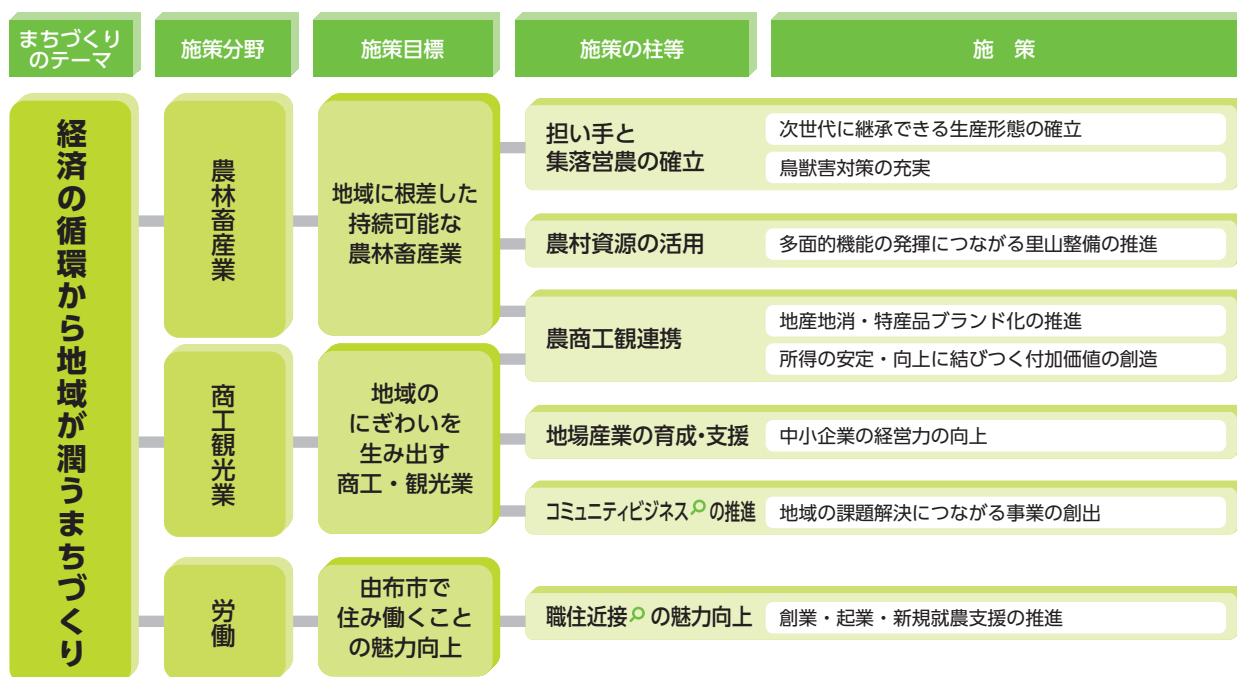
安心して子どもを産み
育てることができる地域づくり



経済の循環から 地域が潤うまちづくり

由布市では、豊かな自然環境を資源とする農林畜産業が土台となり、地域それぞれの特性を活かした商工業や観光産業が展開されています。このような多岐にわたる産業は、各地域の生活文化の中心をなし、経済の循環だけでなく、ひとやものの循環を生み出すものです。幅広く展開する産業間の連携を図り、地域内外のニーズとつながることで、新たな仕事や雇用を生み出すだけでなく、由布市の魅力をより一層高めることができます。農村空間の中で暮らし働ける由布市らしいライフスタイル[○]を提案しながら、必要な仕事を次世代につなぐとともに、就農や起業を支援していきます。

施策体系図



用語解説

【ライフスタイル】

生活様式。個人の経済状況、考え方、価値観等を含んだ一人ひとりの生活のあり方。

【地場産業】

一定の範囲の地域において、ある特定の業種の地元資本の中小企業群からなる企業群が集中的に立地している産業のこと。

【コミュニティビジネス】

地域が抱える課題を地域資源を活かしながら、市民等が主体となってビジネス的な手法によって解決しようとする事業のこと。

【職住近接】

職場と住んでいる場所が近い状態のこと。

【農地流動化】

農地集積を促進するため、農地の売買や賃貸を促進していくこと。

【かん養】

地表の水が地下に浸透し、地下水となること。

【ICT】

Information and Communication Technology(インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー)の略。コンピュータやインターネット等の情報技術とそれらを活用したコミュニケーションを総括した言葉。

【Uターン・Iターン・Jターン/UIJターン】

地方で生まれ育った人が一度大規模な都市に出て、その後、生まれ育った地方に再び戻ることを「Uターン」、大規模な都市で生まれ育った人が、地方へ移り住むことを「Iターン」、地方で生まれ育った人が一度大規模な都市に出て、その後、生まれ育った地方ではないが、その近くの中規模な都市に移り住むことを「Jターン」という。

施策目標 1

地域に根差した持続可能な農林畜産業

由布市の農林畜産業は、生産条件の厳しさゆえに収益性の確保が容易でなく、従事者の高齢化が進み、担い手不足や鳥獣害から農林地の荒廃が生じています。一方で、若者の中からは新しい価値観が芽生え、地方回帰の動きも期待されています。このような時代の潮流を前向きに受け止め、**第1次産業が地域の資源を活かす持続可能な産業**となるよう、次世代への継承を視野に入れ、新たな価値を創造し、所得向上につながる取り組みが必要です。例えば、由布市の豊かな生産物を地域内外の消費者に届けられる流通の多様化を進めるなど、由布市に合った経済やひとの循環を活発にしていく手段を講じていきます。他方で、集落単位での担い手確保や農地流動化[○]を整えていく集落営農の組織化をはじめ、様々な形で農林地や里山に人の手が入るようにし、水資源のかん養[○]や防災など多面的な機能が発揮され、豊かな自然環境の維持につながる産業として確立していきます。

また、基幹産業である本市の農林畜産業は、後述する「地域のにぎわいを生み出す商工・観光業」の各種施策とも連携し、相乗効果を生み出す仕組みづくりを行っていきます。

施策目標 2

地域のにぎわいを生み出す商工・観光業

由布市の商工業は、観光関連の事業主を含め、多様な中小企業によって支えられ、地域の雇用とにぎわいを生み出す重要な要素と言えます。今日、ICT[○]や物流が発達し、グローバルな規模で生産活動が展開し、また流通も大手企業が地方にまで進出するようになる中で、由布市において事業を興してきた中小企業にも、時代の流れに合った事業が求められています。中小企業の存続を視野に入れば、地場産業[○]として大手企業との差別化や、各企業における経営力の向上、後継者の育成が必要です。また、地域の課題解決を担う主体としても、地元企業の果たす役割が期待され、コミュニティビジネス[○]への展開可能性はむしろ高まっています。今まで以上に地場の中小企業の存在感を高め、観光産業をはじめとして地域外の需要を取り込み、積極的に“外貨”を稼ぐことができるよう、また、コミュニティビジネス[○]の推進により、地域住民が安心して暮らすことのできるサービスを提供し、地域のにぎわいを生み出すことができるように商工業を支援していきます。

施策目標 3

由布市で住み働くことの魅力向上

由布市は、農村空間の中で暮らし、働ける環境を有しています。都市部と比べても、子育てや家庭の団らんにも時間を活かせるゆとりのある地域です。コミュニティ活動、伝統芸能活動など由布市が大切にしている地域とのつながりからも、暮らしの安心感を得ることができます。このような暮らしと仕事の空間が近い由布市ならではの「ライフスタイル[○]」の価値を高め、その魅力を積極的に発信していきます。由布市に展開する様々な産業は、地域の魅力ある資源を地域内外のニーズとつなぐことにより、新たな仕事や雇用を生み出す潜在的な力があります。このような環境を活かした新しい「なりわいづくり」を生み出すために、由布市での創業、起業や新規就農にチャレンジできる支援体制を整備し、地元出身者のUターン[○]や都市部からの移住希望（Iターン[○]）者の拡大につなげていきます。

下位の個別計画等

由布市観光基本計画、由布市商工業振興計画、元気になる由布市農業農村計画、農業振興地域整備計画、地産地消・特産品ブランド化推進計画、由布市水田農業ビジョン、由布市酪農・肉用牛生産近代化計画、由布市畜産推進計画、由布市農村振興基本計画、森林整備計画、由布市鳥獣被害防止計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画

農村空間の中で暮らし働ける
由布市らしいライフスタイル





まちづくりのテーマ

豊かな環境の中で 快適な暮らしが実感できるまちづくり

由布市は、大分川の清らかな水で結ばれ、深く美しい緑につつまれています。この環境が持つ豊かさは、それ自体が市民にとっての大きな財産です。また、その一方でこの環境がもたらす災害に対しても十分な備えをしておくことが重要です。

由布市が持つ環境の豊かさを保全、再生し、その価値を高めながら、質の高い生活環境を整備していくことで、市民の豊かな暮らしを支える基盤を作ります。

施策体系図



施策目標 1

豊かな自然環境の実現

由布市の環境を保全し、その価値を高めながら、災害に強い生活環境を実現していくため、「豊かな自然環境の実現」を軸としたまちづくりを実施します。その際、水源、市民生活、河川環境まで流域全体の水循環システムを一体的に捉えながら、水資源や水質汚染、生物多様性に関する実態を客観的な調査研究に基づいて把握した上で、「豊かな水資源の確保」や「環境負荷の少ない生活の促進」、「環境の保全と再生」に向けた施策を実施します。また、環境に関する市民意識の向上を目的として、子どもだけでなく大人も対象とした環境学習を推進します。

施策目標 2

質の高い生活環境の実現

由布市における「質の高い生活環境の実現」に向けて、**既存インフラを最大限に活用しながらICT[○]を活用した社会基盤の高度化を図り、住民サービスの質を確保**していきます。また、由布市の強みを活かした、子育て世代や若者の移住定住促進に対応した住環境の充実を図りつつ、災害に強い住環境づくりに市民との協働で取り組みます。また、近年急速に社会的な課題になりつつある空き家等の対策事業を推進します。特に公園については災害時の避難場所としての機能充実と利用者のニーズにあわせた再整備や情報発信が必要です。道路については、都市計画マスタープラン[○]に基づく整備と見直しを進めるとともに、特に利用度の高い道路や公共的な施設周辺の道路を充実させていきます。また、景観については景観マスタープラン[○]に基づく施策を推進していきます。さらに、持続的な社会に向けた取り組みについては、ゴミの減量化やリサイクル活動等の実施を推進していきます。



金鱗湖



男池



由布川溪谷

下位の個別計画等

一般廃棄物処理基本計画、汚泥再生処理センター整備基本計画、由布市分別収集計画、由布市環境基本計画、由布市都市計画マスタープラン、湯の坪街道周辺地区景観計画・景観協定、由布院盆地景観計画、由布市景観マスタープラン、由布市道路網整備計画、由布市公営住宅等長寿化計画、由布市耐震改修促進計画、地域情報化計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画、由布市公共施設等総合管理計画、由布市水道ビジョン、由布市水道事業基本計画



用語解説

【都市計画マスタープラン】

都市計画法に基づく、市町村の都市計画に関する基本的な方針のこと。

【景観マスタープラン】

景観形成やまちづくりの基本的方針のこと。



環境の豊かさを保全、再生し、
その価値を高めながら
質の高い生活環境を整備

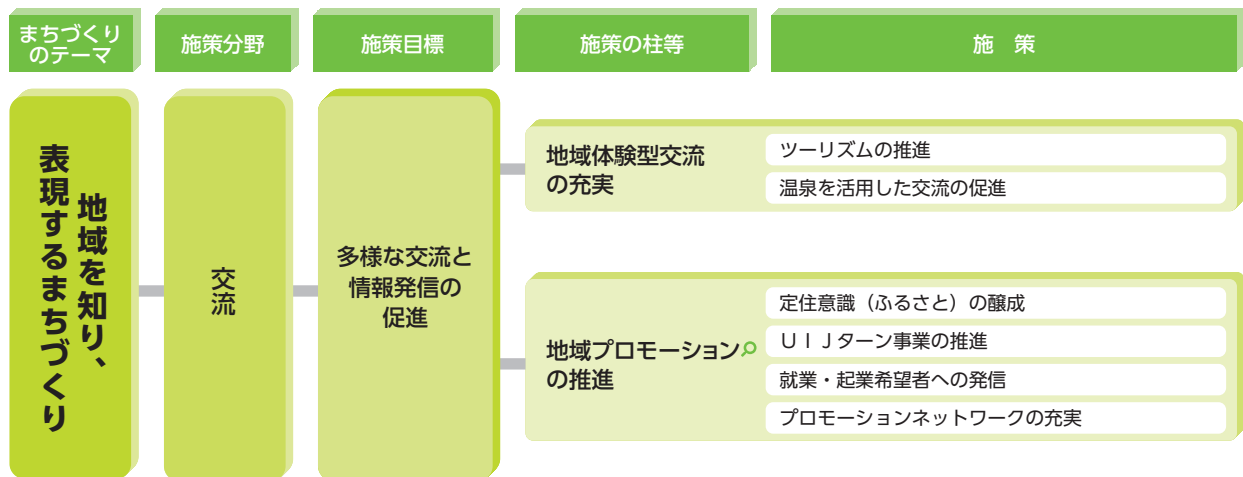
まちづくりのテーマ

地域を知り、 表現するまちづくり

市民一人ひとりが自分たちの地域の魅力を知り、自分たちの地域に対して誇りを持つことが「住み良さ日本一のまち」に向けた地域コミュニティ形成の基盤となります。由布市の持つ環境、風景、歴史、伝統等を市民自身が見て、感じ、共有することが重要です。市民一人ひとりがその魅力を表現し、地域外に向けて発信し、来訪者に提供する中で生まれる交流が、地域の魅力を再認識する機会となります。

本市では、これまで取り組まれてきた地域体験型交流をさらに充実させるとともに、自治体としての地域プロモーション[○]を戦略的に推進し、市民のふるさと意識の醸成や市外からの由布市への関わり合いを育んでいきます。そのために人材や組織の育成、仕組みの構築を進めていきます。

施策体系図



由布市の情報発信ツール 由布市ポータルサイト「ゆふポ」ができました！

由布市の暮らし・防災・観光情報をわかりやすくまとめた「由布市ポータルサイト」（通称「ゆふポ」）を公開しています。由布市に訪れた人も住んでいる人も役立つ情報を掲載しています。「ゆふポ」で由布市の良いところを知って、由布市をPRしていきましょう。

スマートフォン、タブレットで右記のQRコードを読み取るか、下記アドレスからアクセスしてください。たくさんのご利用をお待ちしています。

<https://www.portal-yufu.jp/>



ポータルサイト用

施策目標

多様な交流と情報発信の促進

由布市の持つ豊かな自然環境、温泉、農林畜産業等の営み、それらとともにある暮らしを直接肌で感じ、体験できる交流の場を提供することは、来訪者が由布市の魅力をたっぷりと感じ、心身ともにリフレッシュするとともに、市民自身が地域の魅力を再認識する機会となります。また、それらは**地域社会や地域経済に新しい循環を生み出し、参加した人々が生きがいや収入を得る機会**にもなります。このような地域体験型交流としてツーリズムを推進していきます。

また、滞在型保養温泉地として取り組みを進めている由布院温泉をはじめ、由布市全域に点在する温泉地それぞれの特色を活かしながら、温泉を核とした交流を促進します。温泉を浴用のみの利用にとどめず、医療や健康づくりのための活用方法をさらに検討し、産学官連携により温泉資源の活用を深めていきます。温泉や自然環境の奥深さを来訪者に十分に味わってもらうため、既存施設や地域資源を交流の場として有効に活用しながら、市民間及び市民と来訪者との交流を推進します。

そうした「地域体験型交流の充実」と連携して、U I J ターン^o 事業の推進、就業就農・起業希望者に対する情報発信を目的とした**戦略的な地域プロモーション^o**を推進します。また、この地域プロモーション^oの推進は、市民や市外の出身者、由布市に関わりがある人々の定住意識・ふるさと意識を醸成することも目的とします。そのために人材や組織を育成し、仕組みの構築を進め、市内外も含めた全国的なプロモーションネットワークを充実していきます。

下位の個別計画等

由布市観光基本計画、由布市子ども子育て支援事業計画、由布市過疎地域自立促進計画、辺地総合整備計画、山村振興計画



用語解説

【地域プロモーション】

地域の活力を維持・増進し持続的な発展を可能とするため、地域イメージ(人やコミュニティも含めた地域資源の持つ魅力)を高め、地域外にアピールすること。



**お手持ちの携帯端末で
由布市の情報がもっと見やすく、もっと届く。
もっと由布市が好きになる。**

スマートフォンやタブレットで右記のQRコードを読み取ると公式アプリ「ゆふポ」がダウンロードできます。

アプリをダウンロードすると、由布市での暮らしに役立つ「お知らせ」が携帯端末に届きます。

暮らし・防災・観光の情報がぎゅっとつままったアプリです。



iOS端末用



アンドロイド端末用



アプリを
ダウンロード
してね～!



このマークがある場所では、「無料公衆無線LAN」が利用できます。由布市に訪れた方が、この場所でインターネットに接続することで、宿泊・観光・食の情報を手軽に知ることができます。由布市は観光客の快適な旅をサポートします。

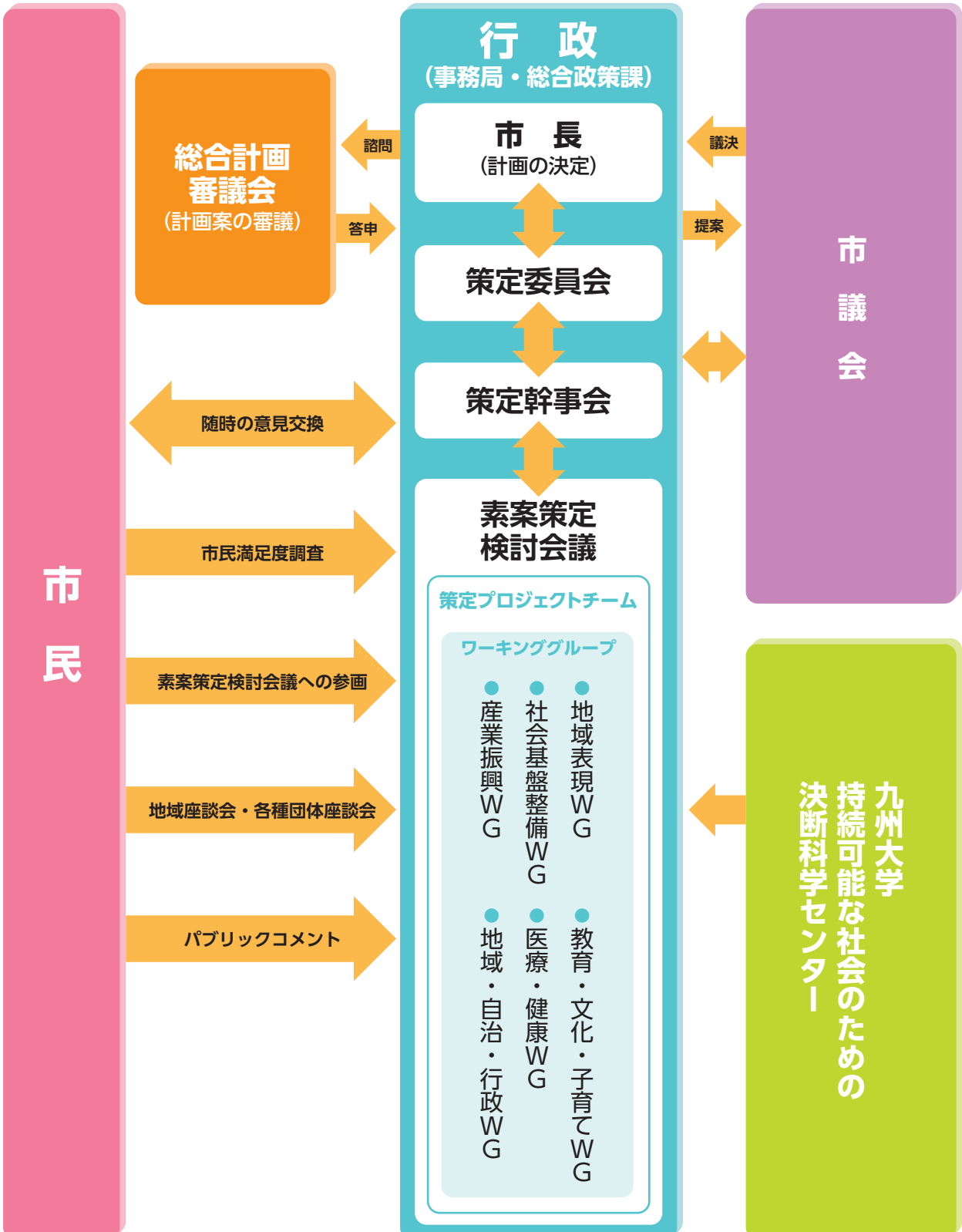


市民一人ひとりが地域の魅力を表現し、
来訪者・移住者との交流を育む中で
生まれる地域への愛着や誇り



策定プロセス

● 第二次由布市総合計画策定 体制図



推進組織

● 第二次由布市総合計画審議会委員【◎会長 ○副会長】

| 氏名 | 役職名 |
|-----------|----------------|
| 油 布 洋 一 | 挾間地域審議会会長 |
| 二 宮 勝 利 | 庄内地域審議会会長 |
| 浦 田 廣 | 湯布院地域審議会副会長 |
| ◎後 藤 久 生 | 由布市自治委員会連合会会長 |
| 利 光 直 人 | 由布市商工会会長 |
| ○芝 野 聖 美 | 由布市教育委員会委員 |
| 三ヶ尻 隼 人 | 由布市社会福祉協議会理事 |
| 栗 林 睦 和 | 由布市農業委員会理事 |
| 岩 男 裕 二 郎 | 由布市医師会会長 |
| 杉 田 敦 子 | 由布市女性団体連絡協議会代表 |
| 甲 下 啓 子 | 由布市母子保健推進員代表 |
| 桑 野 和 泉 | 由布院温泉観光協会会長 |
| 辻 琢 也 | 一橋大学大学院教授 |

※任期 平成 26 年 7 月 10 日～平成 28 年 3 月 31 日まで

● 第二次由布市総合計画策定委員会

| 役職 | 平成 27 年度 | 平成 26 年度 |
|------------|-----------|----------|
| | 氏名 | 氏名 |
| 会長（副市長） | 島 津 義 信 | 島 津 義 信 |
| 副会長（教育長） | 加 藤 淳 一 | 清 永 直 孝 |
| 総務部長 | 梅 尾 英 俊 | 相 馬 尊 重 |
| 産業建設部長 | 生 野 重 雄 | 生 野 重 雄 |
| 健康福祉事務所長 | 河 野 尚 登 | 衛 藤 哲 雄 |
| 環境商工観光部長 | 佐 藤 眞 二 | 平 井 俊 文 |
| 教育次長 | 森 山 金 次 | 日 野 正 彦 |
| 会計管理者 | 友 永 善 晴 | 森 山 金 次 |
| 議会事務局長 | 溝 口 隆 信 | 秋 吉 孝 治 |
| 挾間振興局長 | 平 松 康 典 | 柚 野 武 裕 |
| 庄内振興局長 | 一 法 師 恵 樹 | 生 野 隆 司 |
| 湯布院振興局長 | 小 野 啓 典 | 加 藤 勝 美 |
| 消防長 | 大久保 篤 | 甲 斐 忠 |
| 学識（九州大学教授） | 出 水 薫 | 出 水 薫 |

● 第二次由布市総合計画策定委員会

| 平成 27 年度 幹事会 | | | | | |
|--------------------|-------|-----------|-------|------------|-------|
| 課 名 | 氏 名 | 課 名 | 氏 名 | 課 名 | 氏 名 |
| 総合政策課長 | 奈須 千明 | 総務課長 | 衛藤 公治 | 財政課長 | 御手洗祐次 |
| 人事職員課長 | 田中 稔哉 | 防災安全課長 | 安部 悦三 | 税務課長 | 麻生 悦博 |
| 市民課長 | 田島 国広 | 人権・同和对策課長 | 清藤 勝己 | 収納課長 | 鶴原 章二 |
| 監査・選挙管理 委員会事務局長 | 松田 伸夫 | 契約管理課長 | 加藤 裕三 | 農政課長 | 伊藤 博通 |
| 建設課長 | 大嶋 幹宏 | 都市・景観推進課長 | 森山 徳章 | 農業委員会事務局長 | 須藤 啓司 |
| 福祉対策課長 | 漆間 尚人 | 健康増進課長 | 麻生 清美 | 保険課長 | 曾根崎秀一 |
| 子育て支援課長 | 栗嶋 忠英 | 小松寮長 | 八川 英治 | 環境課長 | 田邊 祐次 |
| 商工観光課長 | 溝口 信一 | 挾間地域振興課長 | 首藤 康志 | 庄内地域振興課長 | 佐藤 久生 |
| 湯布院地域振興課長 | 右田 英三 | 学校教育課長 | 板井 信彦 | 教育総務課長 | 安部 文弘 |
| 社会教育課長 | 後藤 幸治 | スポーツ振興課長 | 江藤 修一 | 学校給食センター所長 | 安部美佐子 |
| 水道課長 | 大久保隆介 | 消防本部 総務課長 | 宮本 秀明 | | |

| 平成 26 年度 幹事会 | | | | | |
|--------------------|-------|-----------|-------|------------|-------|
| 課 名 | 氏 名 | 課 名 | 氏 名 | 課 名 | 氏 名 |
| 総合政策課長 | 溝口 隆信 | 総務課長 | 梅尾 英俊 | 財政課長 | 御手洗祐次 |
| 人事職員課長 | 田中 稔哉 | 防災安全課長 | 安部 悦三 | 税務課長 | 麻生 悦博 |
| 市民課長 | 田島 国広 | 人権・同和对策課長 | 佐藤 剛夫 | 収納課長 | 衛藤 純司 |
| 監査・選挙管理 委員会事務局長 | 松田 伸夫 | 契約管理課長 | 衛藤 公浩 | 農政課長 | 伊藤 博通 |
| 建設課長 | 平松 康典 | 都市・景観推進課長 | 大嶋 幹宏 | 農業委員会事務局長 | 工藤 仁徳 |
| 福祉対策課長 | 一法師恵樹 | 健康増進課長 | 河野 尚登 | 保険課長 | 曾根崎秀一 |
| 子育て支援課長 | 小野 啓典 | 小松寮長 | 大津留絹子 | 環境課長 | 森山 徳章 |
| 商工観光課長 | 佐藤 眞二 | 挾間地域振興課長 | 麻生岳登志 | 庄内地域振興課長 | 佐藤 久生 |
| 湯布院地域振興課長 | 加藤 裕三 | 学校教育課長 | 奈須 千明 | 教育総務課長 | 安部 文弘 |
| 社会教育課長 | 後藤 幸治 | スポーツ振興課長 | 江藤 修一 | 学校給食センター所長 | 安部美佐子 |
| 水道課長 | 友永 善晴 | 消防本部 総務課長 | 大久保 篤 | | |

● プロジェクトチーム

| 課名 | 職 | 氏名 | 課名 | 職 | 氏名 |
|--------|-------|-------|----------|----|--------|
| 総務課 | 主査 | 佐藤 孝宣 | 商工観光課 | 係長 | 新田 祐介 |
| 人事職員課 | 主査 | 庄野 泰之 | // | 係長 | 高田 信明 |
| 防災安全課 | 主査 | 長尾 郁 | 農政課 | 係長 | 小俣 功 |
| 財政課 | 係長 | 大久保 誠 | // | 主査 | 福山 勇司 |
| 税務課 | 主査 | 片桐 直英 | 建設課 | 係長 | 佐藤 圭次 |
| 健康増進課 | 係長 | 柴田 玲子 | 都市・景観推進課 | 係長 | 畠中 勇 |
| // | 主任保健師 | 麻生美由希 | 挟間振興局 | 係長 | 吉倉 芳恵 |
| // | 主査 | 高田 知英 | 庄内振興局 | 主査 | 古長 寛幸 |
| 福祉対策課 | 係長 | 在津 典良 | 湯布院振興局 | 主査 | 衛藤 優也 |
| 子育て支援課 | 主査 | 南 岳嗣 | 学校教育課 | 主査 | 八川 薫 |
| 環境課 | 主査 | 佐藤 洋造 | 社会教育課 | 係長 | 長谷川美由紀 |

● ワーキンググループ

① 地域・自治・行政ワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|---------------|-----------|-----------|
| 人事職員課 | 庄野 泰之 | 庄野 泰之 |
| 防災安全課 | 長尾 郁 | 長尾 郁 |
| 財政課 | 大久保 誠 | 大久保 誠 |
| 市民課 | 後藤 昌代 | 後藤 昌代 |
| 監査・選挙管理委員会事務局 | 阿部 大信 | 阿部 大信 |
| 庄内振興局 | 古長 寛幸 | 古長 寛幸 |
| 会計課 | 阿部 八重 | 一尾 元博 |
| 消防署 | 油布健太郎 | 油布健太郎 |

② 医療・健康ワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|-------|-----------|-----------|
| 健康増進課 | 柴田 玲子 | 柴田 玲子 |
| 健康増進課 | 麻生美由希 | 麻生美由希 |
| 健康増進課 | 高田 知英 | 高田 知英 |
| 保険課 | 近藤 由起 | 近藤 由起 |
| 福祉対策課 | 黒木 達哉 | 在津 典良 |
| 小松寮 | 大津留喜明 | 大津留喜明 |

③ 教育・文化・子育てワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|----------|-----------|-----------|
| 子育て支援課 | 南 岳嗣 | 南 岳嗣 |
| スポーツ振興課 | 上村 健治 | 太田 和章 |
| 学校教育課 | 八川 薫 | 八川 薫 |
| 社会教育課 | 長谷川美由紀 | 長谷川美由紀 |
| 社会教育課 | 山田 尚志 | — |
| 学校教育課 | 太田 和章 | — |
| 学校給食センター | 砂田 剛士 | 砂田 剛士 |
| 幼稚園 | 前谷 希美 | 前谷 希美 |

④ 産業振興ワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|--------|-----------|-----------|
| 商工観光課 | 梅野 朋美 | 梅野 朋美 |
| 商工観光課 | 小俣 功 | — |
| 農政課 | — | 小俣 功 |
| 農政課 | 福山 勇司 | 福山 勇司 |
| 農政課 | 長田 康宏 | 長田 康宏 |
| 挾間振興局 | 吉倉 芳恵 | 吉倉 芳恵 |
| 湯布院振興局 | 新田 祐介 | 岩野 貴文 |
| 農業委員会 | 大嶋 陽一 | 大嶋 陽一 |

⑤ 社会基盤整備ワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|----------|-----------|-----------|
| 契約管理課 | 秦野 一成 | 秦野 一成 |
| 環境課 | 佐藤 洋造 | 佐藤 洋造 |
| 建設課 | 佐藤 圭次 | 佐藤 圭次 |
| 都市・景観推進課 | 畠中 勇 | 畠中 勇 |
| 都市・景観推進課 | 伊藤 学 | 牧 啓太 |
| 水道課 | 小代晋太郎 | 小代晋太郎 |

⑥ 地域表現ワーキングメンバー

| 課名 | 平成27年度 氏名 | 平成26年度 氏名 |
|----------|-----------|-----------|
| 総務課 | 佐藤 孝宣 | 佐藤 孝宣 |
| 税務課 | 厚地 正樹 | 片桐 直英 |
| 収納課 | 足立 明弘 | 柿木 千夏 |
| 人権・同和対策課 | 一法師良市 | 一法師良市 |
| 商工観光課 | 生野 敏博 | 新田 祐介 |
| 湯布院振興局 | 衛藤 優也 | 衛藤 優也 |
| 議会事務局 | 生野 陽子 | 生野 陽子 |
| 総務課 | 高瀬 要 | — |
| 総合政策課 | 片桐 直英 | — |

● 第二次由布市総合計画素案策定検討会議市民委員（WG＝ワーキンググループの略）

① 地域・自治・行政WG

| 氏名 |
|-------|
| 安部 義浩 |
| 津行 俊治 |
| 麻生 博昭 |
| 橋本健志郎 |
| 太田 英一 |
| 清水 聡二 |

② 医療・健康WG

| 氏名 |
|-------|
| 河村奈美子 |
| 佐藤慎二郎 |
| 那須 恵子 |
| 桑野慎一郎 |
| 河野 陽介 |

③ 教育・文化・子育てWG

| 氏名 |
|-------|
| 渡邊 訓行 |
| 枝木 東海 |
| 園田 暁子 |
| 小野 幸男 |
| 大野 茂喜 |
| 生野由紀恵 |
| 川合 晶子 |
| 若林 弘美 |

④ 産業振興WG

| 氏名 |
|-------|
| 田中 廣幸 |
| 甲下 典志 |
| 首藤久美子 |
| 中西 清人 |
| 八川 君彦 |
| 小山 和義 |

⑤ 社会基盤整備WG

| 氏名 |
|-------|
| 後藤 明 |
| 花宮 廣務 |
| 深瀬 隆治 |
| 角田 豊美 |
| 志手 史彦 |
| 大澤 直彦 |

⑥ 地域表現WG

| 氏名 |
|-------|
| 幸 正 |
| 内田ハツミ |
| 坂本 光広 |
| 谷口 京子 |
| 太田慎太郎 |
| 渡辺 理 |

● 第二次由布市総合計画素案策定コーディネーター

| | 所属 | 役職 | 氏名 |
|---------------------|------|------|-------|
| トータルコーディネーター | 九州大学 | 准教授 | 高尾 忠志 |
| サブコーディネーター | 九州大学 | 特任助教 | 永村 景子 |
| 地域・自治・行政WGコーディネーター | 九州大学 | 准教授 | 嶋田 暁文 |
| 医療・健康WGコーディネーター | 熊本大学 | 教授 | 都竹 茂樹 |
| 教育・文化・子育てWGコーディネーター | 九州大学 | 専任講師 | 田北 雅裕 |
| 産業振興WGコーディネーター | 法政大学 | 准教授 | 凶司 直也 |
| 社会基盤整備WGコーディネーター | 九州大学 | 准教授 | 高尾 忠志 |
| 社会基盤整備WGコーディネーター | 九州大学 | 助教 | 林 博徳 |

● 第二次由布市総合計画策定事務局（総務部 総合政策課）

| 平成 27 年度 | 平成 26 年度 |
|----------|----------|
| 奈須 千明 | 溝口 隆信 |
| 衛藤 哲男 | 衛藤 哲男 |
| 佐藤 正秋 | 佐藤 正秋 |
| 古長 誠之 | 古長 誠之 |
| 佐藤 雄三 | 佐藤 雄三 |
| 在津 典良 | 在津 典良 |
| 二宮 有美 | 二宮 有美 |
| 古川 泰慎 | 古川 泰慎 |
| 片桐 直英 | 柏木 啓郎 |
| 江戸 祐貴 | |

由布市民が考えた

由布市のこんないいところ



平成26年度～平成27年度にかけて、市内16会場で市民懇談会を実施しました。
延べ364人の参加者が考えた「由布市のいいところ」を集めました。
全部で1,240個の「由布市のいいところ」が出ました。
このページでは、どんな言葉が多かったのか、円の大きさと表わしてみました。

美しい自然が残っている日本の原風景。



四季折々の新鮮な野菜や果物を食べられる。

豊かな自然と人情が厚いまち。

観光

温泉

人

3地域それぞれの特色がある。



すぐ近くに温泉がある。

空気が良い・人が良い・
静かで自然環境に恵まれている。

お米がしんけんおいしい!

自然

若い人にパワーがあり、
地域のリーダーが増えている。

水

コミュニティバスが走っている。



由布市の子どもたちに希望が持てる。

自然環境がダイナミック!

土に近い。

自然や地域住民の温かさに
魅力があって多くの観光客が
来ている。

何か困った時にはすぐに
近所の方が手助けしてくれる。

子どもたちが素直。

観光資源が豊富。



田舎なのに、県都大分市に
近いから、田舎にしながら
街の暮らしができる。



庄内神楽などの伝統芸能を
継承し続けている。

炭酸水が湧き出ている。

スポーツ交流が盛んで人とのつながりがある



素晴らしい自然環境を守っていききたい。

病院

利便性

子ども

観
景
色
景
色
風
景

神楽

大学病院をはじめ医療機関が
多いので、安心して暮らせる。

自然が豊かで、四季がはっきりしている。



ドラマに出てきそうなきれいな景色がある。

大分県の中心に位置していて、
どこに行くにも便利。

住んでいる人たちの目がきれいで、
イキイキしている。

温泉に恵まれている。



のびのびとした自然が好き。



大人が見守ってくれる。

平成26年(2015年)時点の由布市の人口と10年後(2025年)

| | 行政区名 | 2025 ÷ 2015年 人口変動率 | 2025 - 2015年 高齢化進捗 | 2015年 総人口 | 2015年 0～14歳 |
|------------------|---------|-----------------------|-----------------------|--------------|----------------|
| 挾 間 地 区 | 高崎 | 0.882 | 8.7% | 189 | 22 |
| | 山口 | 0.745 | 6.9% | 16 | 0 |
| | 七蔵司 | 0.850 | 11.1% | 103 | 5 |
| | 来鉢東部 | 0.926 | 5.4% | 202 | 30 |
| | 来鉢中部 | 0.883 | 1.1% | 243 | 28 |
| | 来鉢西部 | 0.769 | 7.7% | 58 | 2 |
| | 北田代 | 0.822 | 11.9% | 62 | 2 |
| | 南田代 | 0.779 | 8.3% | 105 | 4 |
| | 詰 | 0.804 | 6.8% | 100 | 2 |
| | 中台 | 0.840 | - 2.5% | 34 | 2 |
| | 三船 | 0.889 | 8.5% | 166 | 12 |
| | 古野 | 0.989 | 2.9% | 2,007 | 338 |
| | 赤野 | 0.991 | 7.5% | 776 | 113 |
| | 海老毛 | 0.922 | - 4.0% | 94 | 10 |
| | 丸田 | 0.980 | 3.9% | 161 | 24 |
| | 東行 | 0.809 | 1.0% | 38 | 2 |
| | 上朴木 | 0.890 | - 2.5% | 97 | 13 |
| | 下朴木 | 0.839 | 2.8% | 97 | 5 |
| | 医大1 | 1.363 | 0.0% | 49 | 0 |
| | 医大2 | 1.056 | 9.4% | 264 | 53 |
| | 医大3 | 0.935 | 17.6% | 650 | 60 |
| | 古野郷 | 0.905 | 4.5% | 438 | 44 |
| | サントピア古野 | 1.068 | 2.9% | 865 | 244 |
| | 下市 | 1.013 | 2.3% | 1,400 | 267 |
| | 促進住宅 | 1.096 | 2.5% | 138 | 42 |
| | 北方 | 0.992 | 2.0% | 914 | 186 |
| | 上市 | 1.003 | 2.1% | 1,701 | 365 |
| | 鶴田 | 0.969 | 4.9% | 758 | 115 |
| | 鬼崎 | 0.948 | 8.3% | 263 | 37 |
| | 豊友館 | 0.508 | 10.5% | 38 | 0 |
| | 向原 | 0.930 | 1.2% | 546 | 77 |
| | 中村 | 0.990 | 0.6% | 523 | 99 |
| | 柏野 | 0.951 | 3.3% | 367 | 67 |
| | 鬼瀬 | 0.872 | 11.2% | 144 | 5 |
| | 池上 | 0.828 | 10.4% | 70 | 3 |
| | 茅場 | 0.799 | 7.2% | 33 | 0 |
| 時松 | 0.819 | 2.4% | 91 | 4 | |
| 宮田 | 0.944 | 16.2% | 105 | 9 | |
| 喜多里 | 0.951 | 9.5% | 250 | 33 | |
| サニータウン挾間 | 1.062 | 4.8% | 352 | 101 | |
| 谷中村 | 0.881 | 1.6% | 126 | 12 | |
| 小野 | 0.802 | 15.6% | 54 | 2 | |

の地区別人口推計(由布市住民基本台帳と社人研推計に基づく独自推計)

| 2015年 15～64歳 | 2015年 65歳以上 | 2015年 高齢化率 | 2025年 総人口 | 2025年 0～14歳 | 2025年 15～64歳 | 2025年 65歳以上 | 2025年 高齢化率 |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 95 | 72 | 38.1% | 167 | 19 | 70 | 78 | 46.8% |
| 5 | 11 | 68.8% | 12 | 0 | 3 | 9 | 75.7% |
| 51 | 47 | 45.6% | 88 | 3 | 35 | 50 | 56.7% |
| 110 | 62 | 30.7% | 187 | 27 | 92 | 68 | 36.1% |
| 113 | 102 | 42.0% | 215 | 27 | 95 | 93 | 43.1% |
| 24 | 32 | 55.2% | 45 | 4 | 13 | 28 | 62.9% |
| 33 | 27 | 43.5% | 51 | 2 | 21 | 28 | 55.4% |
| 49 | 52 | 49.5% | 82 | 3 | 31 | 47 | 57.8% |
| 46 | 52 | 52.0% | 80 | 6 | 27 | 47 | 58.8% |
| 15 | 17 | 50.0% | 29 | 1 | 14 | 14 | 47.5% |
| 86 | 68 | 41.0% | 148 | 17 | 57 | 73 | 49.4% |
| 1,238 | 431 | 21.5% | 1,985 | 322 | 1,180 | 483 | 24.3% |
| 504 | 159 | 20.5% | 769 | 98 | 456 | 215 | 28.0% |
| 55 | 29 | 30.9% | 87 | 9 | 55 | 23 | 26.9% |
| 99 | 38 | 23.6% | 158 | 16 | 99 | 43 | 27.5% |
| 19 | 17 | 44.7% | 31 | 2 | 15 | 14 | 45.8% |
| 48 | 36 | 37.1% | 86 | 10 | 47 | 30 | 34.6% |
| 45 | 47 | 48.5% | 81 | 4 | 36 | 42 | 51.2% |
| 49 | 0 | 0.0% | 67 | 20 | 47 | 0 | 0.0% |
| 206 | 5 | 1.9% | 279 | 55 | 192 | 31 | 11.3% |
| 392 | 198 | 30.5% | 607 | 51 | 265 | 292 | 48.0% |
| 219 | 175 | 40.0% | 396 | 33 | 187 | 176 | 44.5% |
| 580 | 41 | 4.7% | 924 | 143 | 710 | 71 | 7.6% |
| 861 | 272 | 19.4% | 1,418 | 225 | 885 | 308 | 21.7% |
| 93 | 3 | 2.2% | 151 | 27 | 117 | 7 | 4.7% |
| 520 | 208 | 22.8% | 907 | 168 | 514 | 224 | 24.8% |
| 1,026 | 310 | 18.2% | 1,707 | 309 | 1,051 | 347 | 20.3% |
| 451 | 192 | 25.3% | 735 | 98 | 414 | 222 | 30.3% |
| 161 | 65 | 24.7% | 249 | 27 | 140 | 82 | 33.1% |
| 4 | 34 | 89.5% | 19 | 0 | 0 | 19 | 100.0% |
| 287 | 182 | 33.3% | 508 | 62 | 270 | 175 | 34.5% |
| 315 | 109 | 20.8% | 518 | 95 | 312 | 111 | 21.4% |
| 195 | 105 | 28.6% | 349 | 44 | 193 | 112 | 32.0% |
| 77 | 62 | 43.1% | 125 | 11 | 47 | 68 | 54.2% |
| 27 | 40 | 57.1% | 58 | 2 | 16 | 39 | 67.5% |
| 19 | 14 | 42.4% | 26 | 2 | 12 | 13 | 49.7% |
| 39 | 48 | 52.7% | 75 | 3 | 30 | 41 | 55.2% |
| 65 | 31 | 29.5% | 99 | 6 | 47 | 45 | 45.7% |
| 137 | 80 | 32.0% | 238 | 20 | 119 | 99 | 41.5% |
| 229 | 22 | 6.3% | 374 | 55 | 278 | 41 | 11.1% |
| 66 | 48 | 38.1% | 111 | 10 | 57 | 44 | 39.7% |
| 23 | 29 | 53.7% | 43 | 3 | 11 | 30 | 69.3% |

| | 行政区名 | 2025 ÷ 2015 年 人口変動率 | 2025 - 2015 年 高齢化進捗 | 2015 年 総人口 | 2015 年 0 ~ 14 歳 |
|------------------|------------|------------------------|------------------------|---------------|--------------------|
| 挟 間 地 区 | 阿鉢 | 0.854 | 16.8% | 112 | 6 |
| | 篠原 | 0.858 | 2.9% | 152 | 5 |
| | 谷東部 | 0.919 | 8.5% | 196 | 17 |
| | 山田 | 0.900 | 5.9% | 59 | 3 |
| | 東山 | 0.921 | 6.5% | 96 | 13 |
| | 中恵 | 0.949 | 2.0% | 129 | 29 |
| | 酒野 | 0.844 | - 1.0% | 94 | 10 |
| | 上筒口 | 0.902 | 13.0% | 99 | 18 |
| | 下筒口 | 0.861 | 11.4% | 116 | 10 |
| | 田ノ小野 | 0.929 | 8.3% | 169 | 17 |
| | 同尻 | 0.887 | 7.5% | 315 | 32 |
| | 生田原 | 0.984 | 10.7% | 95 | 14 |
| | のぞみ園 | 0.831 | 36.4% | 69 | 0 |
| | 若葉苑 | 0.425 | 0.0% | 23 | 0 |
| 庄 内 地 区 | 櫛木 | 0.872 | 6.8% | 205 | 15 |
| | 蛇口 | 0.878 | - 1.2% | 255 | 29 |
| | 長宝団地 | 0.967 | 19.0% | 155 | 21 |
| | なごみの里 | 1.015 | 2.9% | 59 | 11 |
| | 五福 | 0.895 | 10.2% | 208 | 14 |
| | 小野屋 | 0.876 | 5.1% | 153 | 8 |
| | 高津透内 | 0.880 | 8.2% | 118 | 3 |
| | 久保 | 0.889 | 13.2% | 263 | 25 |
| | 瀬口 | 0.890 | 15.4% | 108 | 13 |
| | 中尾 | 0.772 | 17.3% | 53 | 1 |
| | 宗寿寺 | 0.740 | 12.1% | 28 | 0 |
| | 竹の中 | 0.806 | 6.7% | 64 | 0 |
| | 影戸 | 0.864 | 18.0% | 63 | 2 |
| | 柚の木 | 0.771 | 9.1% | 100 | 1 |
| | 小挾間 | 0.791 | 19.3% | 67 | 3 |
| | 大龍東部1区 | 0.907 | 5.6% | 406 | 46 |
| | 大龍東部2区 | 0.890 | 5.8% | 293 | 20 |
| | 大龍西部 | 0.907 | 12.5% | 218 | 17 |
| | 五ヶ瀬 | 0.862 | 8.4% | 308 | 19 |
| | ドリームタウン五ヶ瀬 | 1.111 | 1.3% | 119 | 41 |
| | 龍原 | 0.847 | 4.9% | 199 | 12 |
| | 畑田 | 0.872 | 2.6% | 260 | 15 |
| | みどり団地 | 1.067 | 4.6% | 145 | 31 |
| | 猪野竹の下 | 0.887 | 13.6% | 63 | 1 |
| | 長野 | 0.802 | 3.0% | 188 | 15 |
| | 葛原 | 0.865 | 5.9% | 38 | 6 |
| | 佐平治 | 0.805 | 16.3% | 65 | 4 |
| 橋爪 | 0.869 | 5.4% | 137 | 7 | |
| 甲斐田 | 0.755 | 3.7% | 86 | 6 | |
| 宇南水足 | 0.849 | 1.0% | 99 | 4 | |

| 2015年 15～64歳 | 2015年 65歳以上 | 2015年 高齢化率 | 2025年 総人口 | 2025年 0～14歳 | 2025年 15～64歳 | 2025年 65歳以上 | 2025年 高齢化率 |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 62 | 44 | 39.3% | 96 | 7 | 35 | 54 | 56.1% |
| 77 | 70 | 46.1% | 130 | 8 | 58 | 64 | 48.9% |
| 111 | 68 | 34.7% | 180 | 16 | 86 | 78 | 43.2% |
| 34 | 22 | 37.3% | 53 | 4 | 26 | 23 | 43.2% |
| 49 | 34 | 35.4% | 88 | 11 | 40 | 37 | 41.9% |
| 63 | 37 | 28.7% | 122 | 13 | 72 | 38 | 30.7% |
| 31 | 53 | 56.4% | 79 | 7 | 28 | 44 | 55.4% |
| 49 | 32 | 32.3% | 89 | 15 | 34 | 40 | 45.3% |
| 59 | 47 | 40.5% | 100 | 10 | 38 | 52 | 51.9% |
| 92 | 60 | 35.5% | 157 | 17 | 71 | 69 | 43.8% |
| 160 | 123 | 39.0% | 279 | 26 | 123 | 130 | 46.6% |
| 59 | 22 | 23.2% | 94 | 8 | 54 | 32 | 33.9% |
| 38 | 31 | 44.9% | 57 | 0 | 11 | 47 | 81.3% |
| 0 | 23 | 100.0% | 10 | 0 | 0 | 10 | 100.0% |
| 112 | 78 | 38.0% | 179 | 16 | 83 | 80 | 44.8% |
| 119 | 107 | 42.0% | 224 | 19 | 113 | 91 | 40.8% |
| 92 | 42 | 27.1% | 150 | 15 | 66 | 69 | 46.1% |
| 41 | 7 | 11.9% | 60 | 4 | 47 | 9 | 14.7% |
| 107 | 87 | 41.8% | 186 | 17 | 72 | 97 | 52.1% |
| 76 | 69 | 45.1% | 134 | 10 | 56 | 67 | 50.2% |
| 65 | 50 | 42.4% | 104 | 8 | 43 | 52 | 50.5% |
| 152 | 86 | 32.7% | 234 | 21 | 105 | 107 | 45.9% |
| 61 | 34 | 31.5% | 96 | 7 | 44 | 45 | 46.8% |
| 27 | 25 | 47.2% | 41 | 1 | 14 | 26 | 64.4% |
| 10 | 18 | 64.3% | 21 | 0 | 5 | 16 | 76.3% |
| 29 | 35 | 54.7% | 52 | 1 | 18 | 32 | 61.4% |
| 41 | 20 | 31.7% | 54 | 4 | 23 | 27 | 49.8% |
| 51 | 48 | 48.0% | 77 | 3 | 30 | 44 | 57.1% |
| 34 | 30 | 44.8% | 53 | 2 | 17 | 34 | 64.1% |
| 210 | 150 | 36.9% | 368 | 34 | 178 | 157 | 42.6% |
| 158 | 115 | 39.2% | 261 | 24 | 119 | 118 | 45.1% |
| 124 | 77 | 35.3% | 198 | 16 | 87 | 95 | 47.8% |
| 158 | 131 | 42.5% | 266 | 20 | 110 | 135 | 50.9% |
| 77 | 1 | 0.8% | 132 | 30 | 99 | 3 | 2.1% |
| 93 | 94 | 47.2% | 169 | 13 | 68 | 88 | 52.1% |
| 128 | 117 | 45.0% | 227 | 13 | 106 | 108 | 47.6% |
| 104 | 10 | 6.9% | 155 | 23 | 114 | 18 | 11.5% |
| 36 | 26 | 41.3% | 56 | 4 | 21 | 31 | 54.8% |
| 74 | 99 | 52.7% | 151 | 15 | 52 | 84 | 55.6% |
| 15 | 17 | 44.7% | 33 | 4 | 12 | 17 | 50.6% |
| 31 | 30 | 46.2% | 52 | 2 | 17 | 33 | 62.4% |
| 65 | 65 | 47.4% | 119 | 11 | 45 | 63 | 52.8% |
| 30 | 50 | 58.1% | 65 | 3 | 21 | 40 | 61.8% |
| 44 | 51 | 51.5% | 84 | 5 | 35 | 44 | 52.5% |

| | 行政区名 | 2025 ÷ 2015 年 人口変動率 | 2025 - 2015 年 高齢化進捗 | 2015 年 総人口 | 2015 年 0 ~ 14 歳 |
|-----------------------|--------|------------------------|------------------------|---------------|--------------------|
| 庄 内 地 区 | 小松台 | 0.835 | 16.4% | 18 | 1 |
| | 深谷 | 0.892 | 5.0% | 93 | 6 |
| | 雲取 | 0.861 | 5.0% | 136 | 10 |
| | 東家 | 0.899 | 5.5% | 267 | 34 |
| | 小原 | 0.925 | 3.4% | 268 | 35 |
| | 平石 | 0.777 | 11.8% | 121 | 4 |
| | 下武宮 | 0.772 | 15.0% | 62 | 2 |
| | 中武宮 | 0.692 | 5.9% | 23 | 0 |
| | 上武宮 | 0.844 | 11.2% | 67 | 0 |
| | 蓑草 | 0.869 | 16.0% | 140 | 4 |
| | 柿原 1 区 | 0.908 | 5.8% | 292 | 25 |
| | 柿原 2 区 | 0.939 | 5.5% | 381 | 48 |
| | 野畑 3 区 | 0.906 | 6.7% | 144 | 22 |
| | 野畑 4 区 | 0.852 | 13.6% | 104 | 9 |
| | 淵 5 区 | 0.845 | 2.9% | 222 | 14 |
| | 淵 6 区 | 0.843 | 12.9% | 170 | 4 |
| | 淵 7 区 | 0.794 | 18.2% | 81 | 1 |
| | 直野内山 | 0.833 | 8.4% | 92 | 6 |
| | 日ヶ暮 | 0.668 | 4.2% | 28 | 0 |
| | 永十 | 0.800 | 22.6% | 39 | 1 |
| | 伊小野 | 0.798 | 1.0% | 21 | 1 |
| | 高津原 | 0.849 | 12.7% | 77 | 3 |
| | 栢の木 | 0.781 | 9.4% | 48 | 4 |
| | 中村 | 0.834 | 16.2% | 31 | 2 |
| | 原中 | 0.856 | - 4.8% | 25 | 0 |
| | 井手下 | 0.802 | 4.2% | 67 | 5 |
| | 上重 | 0.799 | 11.0% | 57 | 1 |
| | 寿楽苑 | 0.478 | 0.0% | 70 | 0 |
| | 小松寮 | 0.903 | 21.3% | 85 | 0 |
| | 緑の家 | 1.076 | 10.7% | 55 | 0 |
| | 木埋学園 | 1.117 | 0.0% | 40 | 10 |
| | 山家学園 | 1.107 | 0.0% | 31 | 21 |
| 久保更生園 | 0.990 | 26.9% | 57 | 0 | |
| 情和園 | 0.392 | 0.0% | 69 | 0 | |
| 向陽学園 | 0.889 | 30.2% | 73 | 0 | |
| 慶寿苑 | 0.400 | 0.0% | 29 | 0 | |
| 湯 布 院 地 区 | 塚原 | 0.926 | 8.0% | 373 | 47 |
| | 津江 | 0.945 | 1.5% | 542 | 51 |
| | 岳本 | 0.911 | 10.1% | 525 | 45 |
| | 湯の坪 | 0.906 | 4.9% | 564 | 45 |
| | 中島 | 0.846 | 4.4% | 149 | 10 |
| | 佐土原 | 0.996 | 5.1% | 429 | 65 |
| | 並柳 | 0.998 | 2.0% | 529 | 98 |
| 若杉 | 0.921 | 14.1% | 84 | 11 | |

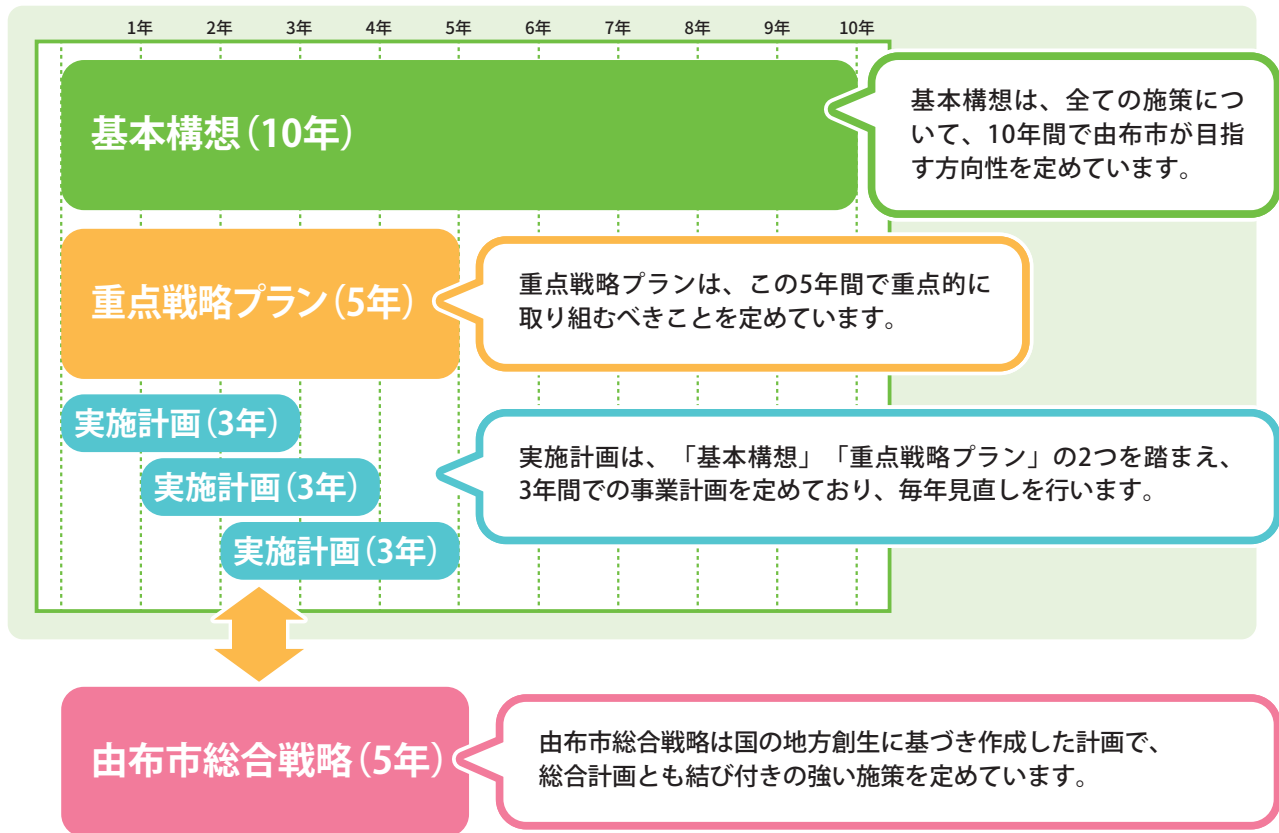
| 2015年 15～64歳 | 2015年 65歳以上 | 2015年 高齢化率 | 2025年 総人口 | 2025年 0～14歳 | 2025年 15～64歳 | 2025年 65歳以上 | 2025年 高齢化率 |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 8 | 9 | 50.0% | 15 | 0 | 5 | 10 | 66.4% |
| 54 | 33 | 35.5% | 83 | 8 | 41 | 34 | 40.4% |
| 66 | 60 | 44.1% | 117 | 9 | 50 | 58 | 49.2% |
| 137 | 96 | 36.0% | 240 | 23 | 117 | 100 | 41.5% |
| 142 | 91 | 34.0% | 248 | 25 | 131 | 93 | 37.4% |
| 51 | 66 | 54.5% | 94 | 4 | 27 | 62 | 66.4% |
| 23 | 37 | 59.7% | 48 | 2 | 10 | 36 | 74.7% |
| 7 | 16 | 69.6% | 16 | 0 | 4 | 12 | 75.5% |
| 33 | 34 | 50.7% | 57 | 2 | 19 | 35 | 61.9% |
| 83 | 53 | 37.9% | 122 | 4 | 52 | 65 | 53.8% |
| 156 | 111 | 38.0% | 265 | 25 | 124 | 116 | 43.8% |
| 225 | 108 | 28.3% | 358 | 35 | 202 | 121 | 33.9% |
| 69 | 53 | 36.8% | 130 | 19 | 55 | 57 | 43.5% |
| 54 | 41 | 39.4% | 89 | 6 | 36 | 47 | 53.1% |
| 103 | 105 | 47.3% | 187 | 11 | 82 | 94 | 50.2% |
| 85 | 81 | 47.6% | 143 | 6 | 51 | 87 | 60.6% |
| 40 | 40 | 49.4% | 64 | 1 | 19 | 43 | 67.6% |
| 47 | 39 | 42.4% | 77 | 4 | 34 | 39 | 50.8% |
| 7 | 21 | 75.0% | 19 | 0 | 4 | 15 | 79.2% |
| 18 | 20 | 51.3% | 31 | 0 | 8 | 23 | 73.9% |
| 8 | 12 | 57.1% | 17 | 0 | 7 | 10 | 58.1% |
| 44 | 30 | 39.0% | 65 | 2 | 29 | 34 | 51.7% |
| 17 | 27 | 56.3% | 38 | 0 | 12 | 25 | 65.7% |
| 16 | 13 | 41.9% | 26 | 1 | 10 | 15 | 58.1% |
| 14 | 11 | 44.0% | 21 | 1 | 12 | 8 | 39.2% |
| 29 | 33 | 49.3% | 54 | 5 | 20 | 29 | 53.4% |
| 31 | 25 | 43.9% | 46 | 2 | 19 | 25 | 54.8% |
| 0 | 70 | 100.0% | 33 | 0 | 0 | 33 | 100.0% |
| 54 | 31 | 36.5% | 77 | 2 | 30 | 44 | 57.8% |
| 54 | 1 | 1.8% | 59 | 6 | 46 | 7 | 12.5% |
| 30 | 0 | 0.0% | 45 | 6 | 39 | 0 | 0.0% |
| 10 | 0 | 0.0% | 34 | 7 | 27 | 0 | 0.0% |
| 55 | 2 | 3.5% | 56 | 2 | 37 | 17 | 30.4% |
| 0 | 69 | 100.0% | 27 | 0 | 0 | 27 | 100.0% |
| 48 | 25 | 34.2% | 65 | 2 | 21 | 42 | 64.5% |
| 0 | 29 | 100.0% | 12 | 0 | 0 | 12 | 100.0% |
| 203 | 123 | 33.0% | 346 | 30 | 174 | 142 | 41.0% |
| 321 | 170 | 31.4% | 512 | 59 | 285 | 168 | 32.9% |
| 304 | 176 | 33.5% | 478 | 47 | 222 | 209 | 43.6% |
| 301 | 218 | 38.7% | 511 | 43 | 246 | 222 | 43.5% |
| 66 | 73 | 49.0% | 126 | 11 | 48 | 67 | 53.4% |
| 276 | 88 | 20.5% | 427 | 54 | 264 | 110 | 25.6% |
| 337 | 94 | 17.8% | 528 | 105 | 319 | 104 | 19.8% |
| 47 | 26 | 31.0% | 77 | 8 | 34 | 35 | 45.0% |

| | 行政区名 | 2025 ÷ 2015 年 人口変動率 | 2025 - 2015 年 高齢化進捗 | 2015 年 総人口 | 2015 年 0 ~ 14 歳 |
|-----------------------|------------|------------------------|------------------------|---------------|--------------------|
| 湯 布 院 地 区 | 乙丸一 | 0.964 | 6.1% | 594 | 92 |
| | 乙丸二 | 0.952 | 6.1% | 258 | 20 |
| | 乙丸三 | 0.979 | 4.3% | 684 | 94 |
| | 新町一 | 0.943 | 3.4% | 501 | 62 |
| | 新町二 | 0.931 | 4.1% | 317 | 38 |
| | 荒木 | 0.893 | 5.1% | 355 | 25 |
| | 石武 | 0.966 | 1.9% | 774 | 144 |
| | 光永 | 0.951 | 2.8% | 256 | 39 |
| | 東石松一 | 0.936 | 5.0% | 184 | 18 |
| | 東石松二 | 0.902 | 5.0% | 330 | 27 |
| | 東石松三 | 0.945 | 1.7% | 360 | 37 |
| | 西石松 | 0.957 | 3.4% | 310 | 30 |
| | 山崎 | 0.907 | 4.6% | 230 | 24 |
| | 平 | 0.918 | 14.7% | 124 | 8 |
| | 中依 | 0.902 | 4.7% | 168 | 21 |
| | 下依 | 0.959 | 1.2% | 323 | 55 |
| | 水地 | 0.770 | 6.4% | 44 | 0 |
| | 前徳野 | 0.926 | 11.1% | 115 | 8 |
| | 内徳野 | 0.845 | 5.4% | 134 | 6 |
| | 槐木 | 0.914 | 28.4% | 25 | 3 |
| | 畑倉 | 0.865 | 7.4% | 34 | 1 |
| | 奥江 | 0.709 | - 3.3% | 35 | 0 |
| | 上津々良 | 0.769 | 1.0% | 76 | 2 |
| | 下津々良 | 0.804 | 15.7% | 72 | 1 |
| | 鮎川 | 0.850 | 8.3% | 104 | 7 |
| | 畑 | 0.824 | 4.7% | 147 | 14 |
| | 小平 | 0.822 | 5.3% | 61 | 3 |
| | 幸野 | 0.907 | 8.5% | 198 | 21 |
| | 湯平一 | 0.896 | 4.3% | 136 | 11 |
| | 湯平二 | 0.879 | 1.1% | 97 | 4 |
| | 湯平三 | 0.805 | 10.7% | 77 | 1 |
| | 自衛隊 | 0.998 | 0.0% | 393 | 0 |
| | 湯布院病院さわらび寮 | 1.086 | 0.0% | 2 | 0 |
| | 湯布院病院あさぎり寮 | 1.329 | 0.0% | 11 | 0 |
| 東急 | 0.931 | 17.5% | 60 | 4 | |
| 白心荘 | 0.413 | 0.0% | 73 | 0 | |
| 温水園 | 0.394 | 1.4% | 70 | 0 | |
| 湯布院病院わかば寮 | 1.316 | 0.0% | 8 | 0 | |
| 湯布院病院独身寮 | 0.984 | 0.0% | 6 | 0 | |

| 2015年 15～64歳 | 2015年 65歳以上 | 2015年 高齢化率 | 2025年 総人口 | 2025年 0～14歳 | 2025年 15～64歳 | 2025年 65歳以上 | 2025年 高齢化率 |
|-----------------|----------------|---------------|--------------|----------------|-----------------|----------------|---------------|
| 356 | 146 | 24.6% | 572 | 89 | 308 | 176 | 30.7% |
| 169 | 69 | 26.7% | 246 | 26 | 139 | 81 | 32.9% |
| 424 | 166 | 24.3% | 670 | 93 | 385 | 191 | 28.6% |
| 270 | 169 | 33.7% | 472 | 53 | 244 | 175 | 37.1% |
| 171 | 108 | 34.1% | 295 | 33 | 150 | 113 | 38.2% |
| 206 | 124 | 34.9% | 317 | 22 | 168 | 127 | 40.0% |
| 410 | 220 | 28.4% | 748 | 105 | 416 | 227 | 30.4% |
| 150 | 67 | 26.2% | 243 | 33 | 140 | 71 | 29.0% |
| 104 | 62 | 33.7% | 172 | 18 | 87 | 67 | 38.7% |
| 187 | 116 | 35.2% | 298 | 29 | 149 | 119 | 40.1% |
| 201 | 122 | 33.9% | 340 | 45 | 174 | 121 | 35.6% |
| 189 | 91 | 29.4% | 297 | 36 | 163 | 97 | 32.8% |
| 123 | 83 | 36.1% | 209 | 21 | 103 | 85 | 40.7% |
| 76 | 40 | 32.3% | 114 | 8 | 53 | 53 | 47.0% |
| 87 | 60 | 35.7% | 151 | 19 | 71 | 61 | 40.5% |
| 179 | 89 | 27.6% | 310 | 48 | 172 | 89 | 28.8% |
| 16 | 28 | 63.6% | 34 | 0 | 10 | 24 | 70.0% |
| 69 | 38 | 33.0% | 107 | 8 | 51 | 47 | 44.1% |
| 69 | 59 | 44.0% | 113 | 7 | 51 | 56 | 49.4% |
| 17 | 5 | 20.0% | 23 | 3 | 9 | 11 | 48.4% |
| 16 | 17 | 50.0% | 29 | 3 | 10 | 17 | 57.4% |
| 5 | 30 | 85.7% | 25 | 0 | 4 | 20 | 82.4% |
| 28 | 46 | 60.5% | 58 | 3 | 19 | 36 | 61.5% |
| 34 | 37 | 51.4% | 58 | 3 | 16 | 39 | 67.1% |
| 52 | 45 | 43.3% | 88 | 7 | 36 | 46 | 51.6% |
| 59 | 74 | 50.3% | 121 | 13 | 42 | 67 | 55.0% |
| 28 | 30 | 49.2% | 50 | 3 | 19 | 27 | 54.5% |
| 108 | 69 | 34.8% | 180 | 15 | 86 | 78 | 43.4% |
| 75 | 50 | 36.8% | 122 | 12 | 59 | 50 | 41.0% |
| 51 | 42 | 43.3% | 85 | 6 | 41 | 38 | 44.4% |
| 33 | 43 | 55.8% | 62 | 3 | 18 | 41 | 66.5% |
| 393 | 0 | 0.0% | 392 | 9 | 383 | 0 | 0.0% |
| 2 | 0 | 0.0% | 2 | 0 | 2 | 0 | 0.0% |
| 11 | 0 | 0.0% | 15 | 4 | 11 | 0 | 0.0% |
| 33 | 23 | 38.3% | 56 | 1 | 23 | 31 | 55.8% |
| 0 | 73 | 100.0% | 30 | 0 | 0 | 30 | 100.0% |
| 1 | 69 | 98.6% | 28 | 0 | 0 | 28 | 100.0% |
| 8 | 0 | 0.0% | 11 | 3 | 8 | 0 | 0.0% |
| 6 | 0 | 0.0% | 6 | 0 | 6 | 0 | 0.0% |

■ 第二次由布市総合計画の構成

総合計画は、以下の3つの内容で構成されています。



第二次由布市総合計画 基本構想

平成28年3月 発行

発行者：由布市総務部総合政策課
電話番号：097-582-1111（代表）
ホームページ：<http://www.city.yufu.oita.jp/>